

参考付表

国民経済及び森林資源

1 林業関係基本指標

項目	単位	H7年 (1995)	12 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
① 国内総生産	億円	5,125,417	5,267,060	5,241,328	5,003,539	4,914,085	4,949,572	5,031,756	5,136,980	5,305,452
林業	億円	2,705	1,723	1,343	1,902	2,022	1,847	2,006	2,140	2,110
林業/総生産	%	0.05	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
② 就業者総数	万人	6,457	6,446	6,356	6,257	5,977	6,270	6,311	6,351	6,376
林業	//	9	7	6	8	7	8	8	8	7
林業/総就業	%	0.14	0.11	0.09	0.13	0.12	0.13	0.13	0.13	0.11
③ 国土面積	万ha	3,778	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,780
④ 森林面積	//	2,515	2,515	2,512	2,510	2,510	2,508	2,508	2,508	2,508
森林/国土	%	67.5	67.5	67.4	67.3	67.3	67.3	67.3	67.3	67.3
⑤ 保安林面積	万ha	857	893	1,165	1,202	1,205	1,209	1,212	1,214	1,217
保安林/森林	%	34.1	35.5	46.4	47.9	48.0	48.2	48.3	48.4	48.5
⑥ 森林蓄積	億m ³	35	35	40	44	44	49	49	49	49
⑦ 木材需要(供給)量	万m ³	11,370	10,101	8,742	7,188	7,440	7,219	7,546	7,580	7,516
国内生産量	//	2,430	1,906	1,790	1,892	2,009	2,032	2,174	2,365	2,492
輸入量	//	8,940	8,195	6,952	5,296	5,431	5,187	5,372	5,215	5,024
木材自給率	%	21.4	18.9	20.5	26.3	27.0	28.1	28.8	31.2	33.2
⑧ 新設住宅着工戸数	万戸	147	123	124	81	83	88	98	89	91
木造率	%	45.3	45.2	43.9	56.6	55.7	55.1	56.1	54.9	55.5

注1：国内総生産は、「平成27年度国民経済計算年次推計」より「平成23年基準」となり、平成6(1994)年以降の計数について遡及改定が行われた。

2：国土面積には北方四島の面積が含まれる。森林面積には北方四島の面積は含めていない。

3：森林/国土の割合における国土面積には、北方四島を含めていない。

4：保安林面積は、実面積の数値。

5：木材需要(供給)量、国内生産量及び輸入量は、丸太換算の数値。

資料：①内閣府「国民経済計算」、②総務省「労働力調査」(平成23年は岩手県、宮城県及び福島県を除く)、③国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、

④⑤⑥林野庁業務資料、⑦林野庁「木材需給表」、⑧国土交通省「建築着工統計」

2 経済活動別国内総生産(名目)

(単位：十億円)

項目	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
国内総生産	526,706	524,133	500,354	491,409	494,957	503,176	513,698	530,545
農林水産業	8,090	5,898	5,515	5,285	5,651	5,556	5,422	5,618
林業	172	134	190	202	185	201	214	211
鉱業	611	414	304	313	281	311	327	325
製造業	118,815	113,448	104,239	96,639	97,663	97,799	101,204	108,029
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	16,898	15,237	13,797	11,054	9,962	10,655	12,072	14,143
建設業	36,215	29,186	23,984	24,093	24,485	26,779	28,440	29,419
卸売・小売業	68,830	75,313	69,088	70,580	72,789	74,271	73,152	73,650
運輸・郵便業	25,643	26,573	25,231	24,497	25,250	25,366	26,737	27,179
宿泊・飲食サービス業	16,580	14,350	12,847	12,451	11,858	12,345	12,632	13,274
情報通信業	24,236	25,911	25,514	25,384	25,354	25,718	26,061	26,505
金融・保険業	25,637	31,192	24,115	23,110	22,442	23,055	22,798	23,557
不動産業	54,138	54,571	59,531	59,528	59,372	59,889	60,115	60,430
専門・科学技術、業務支援サービス業	30,291	33,394	34,940	35,682	35,546	36,513	37,127	38,614
公務	27,314	26,930	26,306	26,423	26,032	25,759	26,445	26,558
教育	19,003	18,620	18,247	18,520	18,487	18,377	18,860	19,057
保健衛生・社会事業	27,874	28,916	32,025	32,496	34,132	34,818	34,506	36,120
その他のサービス	27,353	25,700	23,454	22,904	23,056	22,891	23,238	23,275

注：「平成27年度国民経済計算年次推計」より「平成23年基準」となり、平成6(1994)年以降の計数について遡及改定が行われたとともに、経済活動別分類の変更等が行われた。

資料：内閣府「国民経済計算」



3 林業産出額

(単位：千万円)

項目	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
林業産出額	53,110	41,677	42,169	41,659	39,169	42,471	45,141	43,627
木材生産	32,213	21,023	19,455	20,552	19,333	21,434	23,545	21,827
針葉樹	26,533	17,741	17,016	18,505	17,140	19,366	21,588	19,819
すぎ	12,378	8,753	9,350	10,177	9,731	11,202	12,962	11,809
広葉樹	5,472	3,171	2,376	1,981	2,129	2,006	1,896	1,951
薪炭生産	616	609	508	506	439	553	566	531
栽培きのご類生産	19,689	19,850	21,891	20,472	19,315	20,373	20,902	21,098
林野副産物採取	592	196	315	129	83	110	128	171
生産林業所得	35,187	24,560	22,550	22,373	20,899	22,803	24,369	23,867

注：計の不一致は四捨五入による。
資料：農林水産省「生産林業所得統計」

4 我が国の森林資源の現況

(単位：千ha、万㎡)

区分	総数		立木地				無立木地		竹林面積
			人工林		天然林		面積	蓄積	
	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積			
総数	25,081	490,051	10,289	304,187	13,429	185,819	1,201	45	161
国有林	7,674	115,182	2,327	46,732	4,717	68,406	629	45	0
林野庁所管	7,610	114,620	2,321	46,603	4,667	67,972	623	45	0
国所有林	7,509	112,681	2,240	44,686	4,664	67,950	604	44	0
官行造林	93	1,939	81	1,917	2	22	9	0	0
対象外森林	9	0	0	0	0	0	9	0	0
その他省庁所管	64	562	6	128	51	434	7	0	0
民有林	17,407	374,869	7,962	257,456	8,712	117,413	572	0	161
公有林	2,919	55,770	1,287	35,030	1,495	20,740	131	0	6
都道府県	1,210	21,853	479	12,088	672	9,766	58	0	0
市町村・財産区	1,709	33,916	808	22,942	823	10,975	73	0	5
私有林	14,437	318,421	6,662	222,118	7,186	96,303	437	0	153
対象外森林	51	679	14	309	30	370	4	0	3

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。
2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。
3：更新困難地は天然林に含む。
4：対象外森林とは、森林法第5条に基づく地域森林計画及び同法第7条の2に基づく国有林の地域別の森林計画の対象となっている森林以外の森林をいう。
5：平成24(2012)年3月31日現在の数値。
6：計の不一致は四捨五入による。
資料：林野庁業務資料

5 都道府県別森林面積

(単位：千ha)

都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林	都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林
全国	25,081	10,289	13,429	1,201	161	三重	373	230	133	7	2
北海道	5,543	1,494	3,729	319	0	滋賀	204	85	112	6	1
青森	635	273	341	21	0	京都	343	131	201	5	6
岩手	1,172	495	611	66	0	大阪	58	28	26	2	2
宮城	418	200	203	13	2	兵庫	561	240	305	12	3
秋田	840	412	406	22	0	奈良	285	173	108	3	1
山形	669	186	438	44	0	和歌山	363	219	139	4	1
福島	975	343	582	50	1	鳥取	259	140	110	5	4
茨城	188	112	67	7	2	島根	526	206	298	10	11
栃木	350	156	180	13	1	岡山	484	201	267	11	5
群馬	424	178	219	25	1	広島	612	201	397	12	2
埼玉	121	60	60	1	0	山口	437	196	224	5	12
千葉	159	61	75	17	6	徳島	314	191	115	5	3
東京	79	35	39	5	0	香川	88	23	58	3	3
神奈川	95	36	54	4	1	愛媛	401	246	140	11	4
新潟	857	163	563	129	2	高知	597	390	196	7	5
富山	284	53	169	61	1	福岡	222	142	59	8	13
石川	286	102	165	17	2	佐賀	111	74	28	7	3
福井	312	125	177	8	1	長崎	243	105	124	10	3
山梨	348	153	172	21	1	熊本	464	281	150	23	10
長野	1,070	445	557	66	2	大分	453	237	176	27	14
岐阜	862	385	431	45	1	宮崎	590	351	219	14	6
静岡	501	283	189	25	4	鹿児島	584	294	259	15	16
愛知	219	141	72	3	2	沖縄	105	12	86	6	0

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。
2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。
3：平成24(2012)年3月31日現在の数値。
4：計の不一致は四捨五入による。
資料：林野庁業務資料

6 人工造林面積

(単位：ha)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
総	数	35,908	28,576	24,128	23,536	25,360	27,343	24,753	25,173
民 有 林	有 林 計	31,316	25,584	18,756	19,596	20,277	22,225	21,088	19,429
	私 営 計	15,292	14,325	12,041	12,750	12,999	13,638	12,531	12,775
	公 営 計	16,024	11,259	6,715	6,846	7,277	8,587	8,557	6,653
	森 林 整 備 法 人 等	2,193	464	282	92	175	151	147	167
	森 林 総 合 研 究 所	6,643	5,202	2,416	2,526	2,831	4,400	3,742	2,681
	市 町 村	2,832	1,950	1,551	1,672	1,595	1,617	1,519	1,867
	都 道 府 県	4,356	3,643	2,466	2,556	2,677	2,419	3,149	1,938
国 有 林	4,592	2,992	5,372	3,940	5,083	5,117	3,665	5,745	

注1：国有林には、林野庁所管以外の国有林は含まない。

2：森林整備法人等とは、森林整備法人及び林業公社である。

3：人工造林面積は、治山事業や自力等によるものを含む面積であり、育成復層林施業(人工林)における樹下植栽等(改良を除く)の面積も含まれている。

4：森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

7 樹種別人工造林面積

(単位：ha)

	総 数	針 葉 樹					広 葉 樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他	
H12 (2000)年	(31,316) 28,480	(8,223) 7,967	(11,574) 10,745	(233) 223	(2,524) 2,493	(4,954) 4,014	(3,808) 3,038
17 (05)	(25,584) 22,498	(5,216) 5,011	(7,096) 6,307	(226) 183	(3,534) 3,423	(5,728) 4,611	(3,784) 2,963
22 (10)	(18,756) 16,388	(4,132) 3,844	(2,820) 2,262	(247) 237	(4,604) 4,418	(4,265) 3,381	(2,688) 2,246
23 (11)	(19,596) 16,697	(4,598) 4,311	(2,830) 2,347	(178) 169	(4,950) 4,713	(4,220) 2,839	(2,819) 2,318
24 (12)	(20,277) 16,992	(4,648) 4,425	(2,643) 2,103	(245) 214	(5,155) 4,821	(4,687) 3,112	(2,897) 2,318
25 (13)	(22,225) 18,906	(5,429) 5,215	(2,780) 2,512	(330) 231	(5,099) 4,620	(5,811) 3,942	(2,777) 2,386
26 (14)	(21,088) 17,720	(5,185) 5,098	(2,543) 2,404	(554) 518	(4,603) 4,128	(5,709) 3,622	(2,492) 1,950
27 (15)	(19,429) 16,607	(5,537) 5,390	(2,039) 1,930	(185) 168	(4,467) 4,027	(5,250) 3,450	(1,950) 1,642

注1：民有林の樹種別人工造林面積であり、国有林は含まない。

2：上段()書きは、育成復層林施業における樹下植栽等を含む面積である。

資料：林野庁業務資料

8 人工林の齢級別面積

(単位：千 ha)

	1 齢 級	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
S60年 (1985)	604	895	1,263	1,691	1,762	1,569	947	337	240	205	178	137	111	83	148				
H元 (89)	436	700	943	1,351	1,691	1,746	1,413	777	270	224	183	151	118	93	79	52	62		
6 (94)	278	421	699	937	1,336	1,686	1,719	1,388	735	262	213	172	139	112	86	67	105		
13 (2001)	131	226	350	589	874	1,149	1,599	1,677	1,522	946	353	204	171	144	112	89	62	52	70
18 (06)	88	168	227	352	593	873	1,143	1,582	1,649	1,500	918	345	200	168	141	106	90	62	120
23 (11)	73	114	159	231	347	584	852	1,111	1,565	1,631	1,473	921	345	194	164	138	105	87	174

注1：数値は各年度末のものである。

2：昭和60(1985)年は15齢級を、平成元(1989)年、6(1994)年は17齢級を、平成13(2001)年、18(2006)年、23(2011)年は19齢級を最大齢級としており、それ以上の齢級は最大齢級にまとめている。

3：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の「立木地」の面積。

資料：林野庁業務資料



森林の整備及び保全

9 間伐実績及び間伐材の利用状況

	間伐実績 (千 ha)			間伐材利用量 (万㎡)					国有林
	計	民有林	国有林	計	民有林				
H19 (2007) 年度	521	395	126	537	344	214	47	83	193
20 (08)	548	434	114	566	368	226	39	103	198
21 (09)	585	446	140	637	423	257	48	118	214
22 (10)	556	445	110	665	443	270	42	131	222
23 (11)	552	437	115	711	486	288	40	158	225
24 (12)	488	368	121	759	521	300	36	186	238
25 (13)	521	400	121	811	565	323	44	197	246
26 (14)	465	339	126	769	521	291	33	197	247
27 (15)	452	341	112	813	565	297	35	232	248

注1：間伐実績は、森林吸収源対策の実績として把握した数値である。

2：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。

3：製材とは、建築材、梱包材等である。

4：丸太とは、足場丸太、支柱等である。

5：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

6：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

(参考)

	民有林				
	間伐面積 (千 ha)	間伐材利用量 (万㎡)			
H2 (1990) 年度	277	234	170	37	26
7 (95)	215	183	125	34	24
12 (2000)	304	274	195	41	38
15 (03)	312	283	185	50	48
16 (04)	277	284	184	45	55
17 (05)	281	284	181	41	62
18 (06)	282	324	196	48	80
19 (07)	395	344	214	47	83

注1：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。

2：製材とは、建築材、梱包材等である。

3：丸太とは、足場丸太、支柱等である。

4：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

10 林道開設(新設)量

(単位：km)

				H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
民有林 林道	補助 林道	国庫 補助	一般林道	714	387	224	169	170	177	181	153
			道整備交付金	…	15	80	94	106	90	81	67
			農 免	3	1	…	…	…	…	…	…
			森林総合研究所	39	13	…	…	…	…	…	…
			林業構造改善	54	6	…	…	…	…	…	…
			山村振興	8	1	…	…	…	…	…	…
			その他	14	1	0	0	0	0	0	0
	小 計	832	425	305	263	276	267	262	221		
	県単独補助	199	76	29	26	14	12	11	13		
	計	1,031	501	334	289	290	279	273	234		
融 資 林 道	0	0	…	…	…	…	…	…			
自 力 林 道	57	12	3	18	2	3	2	3			
合 計	1,088	513	337	307	292	282	275	238			
国 有 林 林 道	99	138	97	320	420	411	293	175			
総 計	1,187	651	434	627	712	693	568	413			
林道舗装実績	1,340	567	751	303	250	349	274	230			

注1：各年度末の新設延長。

2：計の不一致は四捨五入による。

3：森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

資料：林野庁業務資料

11 保安林の種類別面積

(単位：千 ha)

区 分	合 計	国有林	民有林
水源かん養保安林	9,185	5,702	3,483
土砂流出防備保安林	2,585	1,079	1,506
土砂崩壊防備保安林	59	20	40
飛砂防備保安林	16	4	12
防風保安林	56	23	33
水害防備保安林	1	0	1
潮害防備保安林	14	5	8
干害防備保安林	126	50	76
防雪保安林	0	0	0
防霧保安林	62	9	53
なだれ防止保安林	19	5	14
落石防止保安林	2	0	2
防火保安林	0	0	0
魚つき保安林	60	8	52
航行目標保安林	1	1	0
保健保安林	701	357	344
風致保安林	28	13	15
合 計	12,916	7,275	5,641
(実面積)	12,169	6,920	5,250

注1：平成28(2016)年3月31日現在の数値。
 注2：同一箇所でも2種類以上の保安林に指定されている場合、それぞれの保安林に計上している。
 注3：国有林には、林野庁所管以外の国有林を含む。
 注4：計の不一致は四捨五入による。
 資料：林野庁業務資料

12 気象災害、林野火災

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	
気象災害	被害面積 (ha)	14,645	2,516	2,087	2,571	1,227	7,023	4,831	5,686
	風害	3,402	364	23	549	249	5,322	326	3,858
	水害	2,633	526	208	553	67	176	79	39
	雪害	1,863	920	1,440	989	222	584	3,095	1,414
	干害	6,161	656	342	161	202	872	1,063	319
	凍害	585	48	73	312	486	69	243	57
潮・雹害	…	3	…	7	1	…	25	…	
林野火災	出火件数 (件)	2,805	2,215	1,392	2,093	1,178	2,020	1,494	1,106
	焼損面積 (ha)	1,455	1,116	755	2,071	372	971	1,062	538
	被害額 (億円)	7	9	1	10	2	2	14	3

注1：気象災害は、私・公有林の被害である。
 注2：林野火災は、私・公、国有林(林野庁所管外も含む。)の被害である。
 資料：林野庁業務資料、消防庁業務統計

13 森林保険事業実績

	年度末契約保有高			損害補填補償額			
	件数 (件)	面積 (千 ha)	責任保険金額 (百万円)	件数 (件)	面積 (ha)	損害額 (百万円)	支払額 (百万円)
H12 (2000) 年度	137,479	1,203	863,007	7,884	2,502	3,587	1,374
17 (05)	184,670	1,296	1,345,535	7,543	2,161	3,622	2,246
22 (10)	135,861	969	965,327	2,419	611	938	456
23 (11)	132,750	963	967,956	1,798	709	1,183	562
24 (12)	128,980	907	935,819	3,229	1,032	2,108	783
25 (13)	121,646	847	896,369	2,480	1,197	2,175	767
26 (14)	131,390	787	852,741	2,143	1,184	2,133	974
27 (15)	108,859	742	807,708	1,956	872	1,508	587

注：平成26(2014)年度までは森林国営保険によるもの、平成27(2015)年度は国立研究開発法人森林総合研究所が行う森林保険によるものである。
 資料：平成26(2014)年度までは林野庁業務資料、平成27(2015)年度は国立研究開発法人森林総合研究所調べ。

14 野生動物による森林被害

(単位：千 ha)

	合計	サル	ノネズミ	ノウサギ	カモシカ	シカ	イノシシ	クマ
H12 (2000)年度	8.2	0.7	0.3	0.6	1.0	4.6	0.5	0.6
17 (05)	5.8	0.0	0.3	0.3	0.8	3.5	0.4	0.4
22 (10)	6.2	0.0	0.4	0.1	0.3	4.0	0.2	1.2
23 (11)	9.4	0.0	2.0	0.1	0.3	5.7	0.2	1.1
24 (12)	9.1	0.0	1.2	0.1	0.5	6.5	0.2	0.6
25 (13)	8.9	0.0	0.8	0.1	0.4	6.8	0.1	0.6
26 (14)	8.8	0.0	0.6	0.1	0.4	7.1	0.1	0.5
27 (15)	7.8	0.0	0.7	0.1	0.3	6.0	0.1	0.6

注1：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。
 注2：森林および苗畑の被害。
 注3：東日本大震災の影響により、平成22(2010)年度については未計上の県がある。
 資料：林野庁業務資料



15 松くい虫被害量（材積）

（単位：千㎡）

	S52年度 (1977)	54 (79)	57 (82)	62 (87)	H4 (92)	9 (97)	14 (2002)	19 (07)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
被害材積	809	2,433	1,467	1,140	1,126	811	915	619	643	627	561	481

注1：国有林（林野庁所管）、民有林の合計。

2：平成23（2011）～27（2015）年度については、原発事故に伴い福島県内の把握不可能な市町村については、除外等している。

資料：林野庁業務資料

16 ナラ枯れ被害量（材積）

（単位：千㎡）

	H15年度 (2003)	20 (08)	21 (09)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
被害材積	51	133	230	325	157	83	52	41	83

注1：国有林（林野庁所管）、民有林の合計。

2：東日本大震災の影響により、平成22（2010）年度については未計上の県がある。

3：平成23（2011）～27（2015）年度については、原発事故に伴い福島県内の把握不可能な市町村については、除外等している。

資料：林野庁業務資料

17 森林・林業に関する専門技術者

（単位：人）

	H7年度 (1995)	12 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
技術士（森林部門）	411	555	711	960	1,131	1,187	1,260	1,279
林業技士	7,168	8,024	9,322	11,341	12,430	12,726	12,983	13,240
森林総合監理士	…	…	…	…	…	461	717	982
森林インストラクター	425	1,132	2,261	2,926	3,087	3,092	3,104	3,099
樹木医	389	778	1,332	1,909	2,247	2,356	2,464	2,562

注1：技術士（森林部門）：技術士法に基づく資格（21部門のうち森林部門）を有し、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者。平成28（2016）年度は、平成28（2016）年12月末現在の数値。

2：林業技士：一般社団法人日本森林技術協会が認定する資格を有し、森林土木等の技術的業務に関する専門知識の実践を行う者。平成28（2016）年度は、平成28（2016）年4月1日現在の数値。

3：森林総合監理士：林業普及指導員資格試験の地域森林総合監理区分に合格し、市町村等へ技術的支援を行う者。平成28（2016）年度は、平成28（2016）年12月末現在の数値。

4：森林インストラクター：一般社団法人全国森林レクリエーション協会が認定する資格を有し、一般の人々に、森林や林業に関する知識の提供、森林の案内、森林内の野外活動の指導等を行う者。平成28（2016）年度は、平成29（2017）年2月末現在の数値。

5：樹木医：一般財団法人日本緑化センターが認定する資格を有し、「ふるさとのシンボル」として親しまれている巨樹・古木林等の保護や樹勢回復・治療等を行う者。平成28（2016）年度は、平成28（2016）年12月末現在の数値。

資料：林野庁業務資料、技術士は公益社団法人日本技術士会、林業技士は一般社団法人日本森林技術協会調べ。

18 林業普及指導職員等の数

（単位：人）

	H7年度 (1995)	12 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
林業専門技術員（SP）	381	336	…	…	…	…	…	…
林業改良指導員（AG）	1,997	1,862	…	…	…	…	…	…
林業普及指導員	…	…	1,811	1,398	1,350	1,324	1,304	1,310
計	2,378	2,198	1,811	1,398	1,350	1,324	1,304	1,310

注：平成17（2005）年度の制度改正により、林業専門技術員と林業改良指導員の2つの資格を「林業普及指導員」に一元化している。

資料：林野庁業務資料

19 森林・林業関係の教育機関数

区分	学校数
森林・林業関係学科（科目）をもつ 高等学校	72
森林・林業関係学科（科目）をもつ 大学（うち国立大学）	28
森林・林業関係学科（科目）をもつ 都道府県立農林大学校	14

注：平成28（2016）年4月現在の数値。

資料：林野庁業務資料

林業

20 所有形態別林野面積（民有）

H27 (2015) 年		
	所有林野面積 (ha)	比率 (%)
総数	17,626,113	100.0
私有	13,565,022	77.0
公有	3,368,731	19.1
都道府県	1,271,529	7.2
森林整備法人	391,189	2.2
市区町村	1,404,456	8.0
財産区	301,557	1.7
独立行政法人等	692,360	3.9

注1：計の不一致は四捨五入による。
 2：独立行政法人等とは、独立行政法人、国立大学法人、特殊法人が所有しているものである。
 資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

21 林業経営体数及び保有山林面積

(単位：経営体、ha)

	合計		3ha未満		3～5ha		5～20ha		20～50ha		50～100ha		100ha以上	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
総数	87,284	4,373,374	(1,257)	1,170	23,767	85,988	41,885	389,986	12,193	348,521	3,572	235,747	3,620	3,311,962
法人経営	5,599	1,470,626	1,065	237	397	1,495	1,315	14,029	894	27,849	658	45,473	1,270	1,381,544
農事組合法人	145	9,226	10	1	16	60	50	472	23	650	17	1,176	29	6,868
会社	2,456	774,282	707	144	193	706	538	5,481	333	9,838	196	12,829	489	745,285
各種団体	2,337	497,968	304	85	109	425	480	5,559	448	14,529	379	26,598	617	450,772
農協	87	19,669	4	16	9	101	21	779	14	1,041	39	17,732
森林組合	1,819	304,008	263	83	74	287	342	4,083	341	11,085	317	22,336	482	266,135
その他の各種団体	431	174,291	41	2	31	123	129	1,376	86	2,665	48	3,221	96	166,905
その他の法人	661	189,150	44	7	79	304	247	2,518	90	2,832	66	4,871	135	178,619
法人でない経営	80,396	1,349,519	1,181	933	23,329	84,334	40,417	374,113	11,129	315,103	2,768	180,050	1,572	394,985
個人経営体	77,692	1,215,213	1,073	901	22,922	82,773	39,327	362,792	10,575	298,201	2,494	160,726	1,301	309,821
地方公共団体・財産区	1,289	1,553,229	1	...	41	159	153	1,844	170	5,570	146	10,224	778	1,535,432

注1：()は保有山林のない経営体数で内数。
 2：林業経営体とは、①保有山林面積が3ha以上かつ過去5年間に林業作業を行う森林経営計画又は森林施業計画を作成している、②委託を受けて育林を行っている、③委託や立木の購入により過去1年間に200m以上の素材生産を行っている、のいずれかに該当する者である。
 資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

22 林業経営体（林家）の林業経営

項目	単位	H16年度 (2004) 平均	17 (05) 平均	18 (06) 平均	19 (07) 平均	20 (08) 平均	25 (13) 平均	保有山林規模別 (ha)			
								20-50	50-100	100-500	500-
林業粗収益	千円	2,497	2,396	2,603	1,904	1,784	2,484	2,773	1,742	3,198	9,346
立木販売収入	//	300	266	409	275	206	233	228	199	342	...
素材生産収入	//	1,786	1,667	1,635	1,246	1,041	1,744	1,806	1,110	2,417	9,039
その他	//	412	464	559	383	537	507	739	433	439	307
林業経営費	千円	2,081	2,109	2,125	1,613	1,681	2,371	2,013	1,652	3,309	13,851
雇用労賃	//	379	339	345	270	300	300	256	149	473	2,636
原木費	//	230	248	308	125	130	112	157	98	103	...
機械修繕費	//	201	208	209	117	169	279	414	184	272	1,073
賃借料・料金	//	202	195	194	174	150	192	126	131	382	415
請負わせ料金	//	613	707	626	539	557	982	529	710	1,496	7,322
その他	//	455	409	443	389	375	506	531	380	583	2,405
林業所得	千円	417	287	478	291	103	113	760	90	▲111	▲4,505
投下労働量	時間	698	609	632	571	536	645	820	480	702	1,939
家族	//	496	426	447	422	380	447	645	373	424	195
雇用労働	//	202	183	185	149	156	198	175	107	278	1,744

注1：保有山林面積50ha以上で林木に係る施業を行っている林家、又は保有山林面積が20ha以上50ha未満で、過去1年間の林木に係る施業労働日数が30日以上の林業経営体(林家)1経営体(1戸)当たりの平均値。
 2：林業粗収益＝現金収入＋林産物の林業外仕向額＋林産物の在庫増加(減少)額
 3：林業粗収益のその他とは、特用林産物収入や受託収入等である。
 4：林業経営費＝現金支出＋減価償却費＋処分差損益＋生産資材の在庫減少(増加)額
 5：雇用労賃には、労働災害保険を含む。
 6：林業経営費のその他とは、種苗費、肥料費、薬剤費、諸材料費、器具費、建物維持費、企画管理費、負債利子、租税公課諸負担等である。
 7：林業所得＝林業粗収益－林業経営費
 8：計の不一致は四捨五入による。
 9：平成19(2007)年度・20(2008)年度の結果のうち、減価償却費については、平成19(2007)年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ以下のとおり算出した。
 (1) 平成19(2007)年3月31日以前に取得した資産
 ア 償却中の資産：1か年の減価償却費＝(取得価額－残存価額)÷耐用年数
 イ 償却済みの資産：1か年の減価償却費＝(取得価額－1円(備忘価額))÷5年
 (2) 平成19(2007)年4月1日以降に取得した資産
 1か年の減価償却費＝(取得価額－1円(備忘価額))÷耐用年数
 資料：農林水産省「林業経営統計調査報告」



23 林業機械の普及台数

(単位：台)

		H7年度 (1995)	12 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	対前年 増減率(%)
高性能林業機械	フェラーバンチャ	51	42	25	85	101	113	123	143	145	1.4
	ハーベスタ	201	379	442	836	924	1,075	1,174	1,357	1,521	12.1
	プロセッサ	509	854	1,002	1,312	1,369	1,451	1,484	1,671	1,802	7.8
	スキッタ	102	164	163	141	142	148	142	131	126	▲3.8
	フォワーダ	236	509	722	1,213	1,349	1,513	1,724	1,957	2,171	10.9
	タワーヤダ	144	190	174	148	149	143	149	144	152	5.6
	スイングヤダ	…	134	340	708	752	810	851	950	959	0.9
	その他の高性能林業機械	…	13	41	228	303	425	581	736	810	10.1
小計	1,243	2,285	2,909	4,671	5,089	5,678	6,228	7,089	7,686	8.4	
在来型林業機械	大型集材機	9,471	8,013	6,009	5,042	4,939	4,820	4,613	4,241	3,951	▲6.8
	小型集材機	8,907	7,525	5,460	4,276	4,148	3,995	3,718	3,397	3,103	▲8.7
	チェーンソー	340,672	300,300	245,998	211,869	206,552	201,364	191,856	181,439	170,361	▲6.1
	刈払機	356,669	350,765	298,718	243,468	237,163	226,435	215,719	207,623	186,528	▲10.2
	トラクタ	3,956	3,290	2,630	2,039	1,876	1,906	1,719	1,630	1,486	▲8.8
	運材車	25,303	22,238	18,083	14,024	13,770	13,511	12,620	12,152	11,477	▲5.6
	モノレール	1,551	981	859	793	752	744	716	688	657	▲4.5
	動力枝打機	12,133	12,695	10,077	7,465	7,184	6,992	6,950	6,064	5,182	▲14.5
自走式搬器	1,752	1,991	1,757	1,563	1,536	1,513	1,448	1,384	1,342	▲3.0	

注1：国有林野事業で所有する林業機械を除く。

2：平成7(1995)年度以前のタワーヤダの台数は、スイングヤダ(油圧ショベルをベースマシンに集材用ウインチを搭載した機械)を含む。

3：平成12(2000)年度より、ハイブリッド機械、フェラースキッタ、下刈機械等従来の高性能林業機械以外の高性能林業機械を「その他の高性能林業機械」として項目に追加した。

資料：林野庁業務資料

24 総人口及び就業者数

(単位：万人)

	総人口	就業者数				うち雇用者数				
		全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	うち 製造業
H12(2000)年	12,688	6,446	297	7	6,150	5,356	34	4	5,322	1,205
17(05)	12,766	6,356	259	6	6,097	5,393	36	4	5,356	1,059
22(10)	12,739	6,257	234	8	6,023	5,463	53	6	5,410	996
23(11)	12,156	5,977	207	7	5,770	5,244	49	6	5,195	997
24(12)	12,757	6,270	224	8	6,046	5,504	52	7	5,452	980
25(13)	12,731	6,311	217	8	6,094	5,553	52	7	5,501	989
26(14)	12,710	6,351	209	8	6,142	5,595	53	7	5,542	987
27(15)	12,689	6,376	208	7	6,168	5,640	53	6	5,587	984

注1：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成15(2003)年以降の製造業の結果は平成14(2002)年以前の結果と時系列接続していない。

2：平成23(2011)年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国結果。

3：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

資料：総務省「労働力調査年報」

25 産業別、年齢階層別就業者数

(単位：万人)

	総数	15歳～ 19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～64	65歳 以上
全産業	6,376	93	403	539	589	683	816	733	661	1,130	730
農業	201	1	4	5	7	9	9	10	12	45	99
林業	7	-	0	0	1	1	1	1	1	2	2
鉱業	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
建設業	500	4	21	29	41	55	72	59	49	105	64
製造業	1,035	11	58	91	101	122	147	134	116	175	81
その他	4,630	77	320	414	439	496	587	529	482	803	484

注1：平成27(2015)年の平均値。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

資料：総務省「労働力調査年報」(平成27(2015)年)

26 林業への新規就業者の就業先

(単位：人)

	H12年度 (2000)	17 (05)	21 (09)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
総数	2,314	2,843	3,941	4,014	3,181	3,190	2,827	3,033	3,204
民間事業体	864	1,149	2,024	2,296	1,838	1,972	1,764	1,944	2,005
森林組合	1,450	1,694	1,917	1,718	1,343	1,218	1,063	1,089	1,199

資料：林野庁業務資料

27 林業労働者の賃金

(単位：円/日)

	H7年度 (1995)	12 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
造林	11,082	12,082	11,795	11,728	11,684	11,731	12,081	12,260	12,237
伐出	12,748	13,648	13,119	12,921	12,827	12,827	12,968	13,196	13,197

注：全国農業会議所が作成した調査票に基づき、都道府県農業会議の指導の下、市町村農業委員会が行った調査であり、農外諸賃金のうち都道府県別平均の造林(新植、撫育作業)、伐出を抜粋したものである。

資料：全国農業会議所「農作業料金・農業労賃に関する調査結果」

28 労働災害の発生率

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
死傷年千人率	全産業	2.8	2.4	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.2
	林業	28.7	26.8	28.6	27.7	31.6	28.7	26.9	27.0
	木材・木製品製造業	11.6	9.9	7.4	7.9	13.1	11.4	12.3	11.2
	建設業	6.3	5.8	4.9	5.2	5.0	5.0	5.0	4.6
	製造業	3.6	3.3	2.6	2.7	3.0	2.8	2.9	2.8
	鉱業	17.6	18.8	13.9	13.9	9.9	12.0	8.1	7.0

注：死傷年千人率とは、1,000人当たり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したものである。

(死傷年千人率 = 1年間の死傷者数(休業4日以上) ÷ 1年間の平均労働者数 × 1,000)

平成24(2012)年より千人率の計算に用いる資料が「労働者災害補償保険事業年報」及び「労災保険給付データ」から「労働者死傷病報告書」及び「労働力調査」に変更されている。

資料：厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」

29 森林組合の事業活動等

		H7年 (1995)	12 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	対前年 増減率(%)
森林組合数(A)		1,455	1,174	846	679	660	644	631	▲ 2.0
組合員数(千人)		1,718	1,669	1,618	1,567	1,555	1,546	1,537	▲ 0.6
1組合当たり払込済出資金(千円)		29,765	42,133	61,261	78,418	80,801	83,647	86,006	2.8
主要事業量	新植面積(ha)	35,183	25,648	18,818	15,268	15,203	14,751	15,032	1.9
	丸太生産量(千m)	3,088	2,835	2,818	3,612	4,109	4,520	4,946	9.4
作業班	設置組合数(B)	1,148	939	737
	(B) ÷ (A) (%)	78	79	80

資料：林野庁「森林組合統計」

30 森林組合の主要事業別の取扱高

(単位：百万円)

	販売・林産	加工	購買	森林造成	その他	合計
H7(1995)年度	102,287	40,709	20,956	186,772	38,246	388,970
12(2000)	77,555	40,441	16,434	167,376	40,325	342,131
17(05)	57,190	34,290	12,221	111,287	40,685	255,673
22(10)	67,371	32,988	10,832	114,020	45,447	270,659
23(11)	70,774	33,462	10,741	106,668	42,655	264,300
24(12)	69,310	31,401	10,869	94,450	40,327	246,357
25(13)	81,140	36,245	10,898	99,007	42,147	269,437
26(14)	90,090	34,937	9,906	100,470	42,382	277,785

資料：林野庁「森林組合統計」

林産物

31 丸太生産量

(単位：千m³、%)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	対前年 増減率(%)	
総数		17,034	16,166	17,193	18,290	18,479	19,646	19,916	20,049	0.7	
樹種別	針葉	13,707 (80)	13,695 (85)	14,789 (86)	15,986 (87)	16,062 (87)	17,246 (88)	17,743 (89)	17,815 (89)	0.4	
	スギ	計	7,671	7,756	9,049	9,649	9,956	10,902	11,194	11,226	0.3
		うち、製材用	7,258 (57)	6,737 (58)	6,695 (63)	7,089 (62)	7,295 (64)	7,825 (65)	7,872 (64)	7,869 (66)	▲0.0
	広葉樹	ヒノキ	2,273	2,014	2,029	2,169	2,165	2,300	2,395	2,364	▲1.3
		アカマツ・クロマツ	1,034	783	689	580	661	624	674	779	15.6
		カラマツ・エゾマツ・トドマツ	2,410	2,910	2,821	3,373	3,098	3,275	3,327	3,268	▲1.8
	その他	319	232	201	215	182	145	153	170	11.1	
広葉樹	3,327 (20)	2,471 (15)	2,404 (14)	2,304 (13)	2,417 (13)	2,400 (12)	2,173 (11)	2,236 (11)	2,236 (11)	2.9	
用途別	製材	12,798 (75)	11,571 (72)	10,582 (62)	11,492 (63)	11,321 (61)	12,058 (61)	12,211 (61)	12,004 (60)	▲1.7	
	合板	138 (1)	863 (5)	2,490 (14)	2,524 (14)	2,602 (14)	3,016 (15)	3,191 (16)	3,356 (17)	5.2	
	木材チップ	4,098 (24)	3,732 (23)	4,121 (24)	4,274 (23)	4,556 (25)	4,572 (23)	4,514 (23)	4,689 (23)	3.9	

注1：()は総数に対する割合。

2：< >は製材用に対する割合。

3：生産量には、林地残材は含まれていない。

4：総数は製材用、合板用、木材チップ用の計である。なお、「木材需給報告書」の平成12(2000)年の丸太生産量にはパルプ用及びその他用が含まれており、これを除いて掲載した。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成12(2000)～27(2015)年)

32 木材需給表(丸太換算)

(単位：千m³)

供給	需要	総需要量						国内消費						輸出																	
		計	用材				しいたけ原木	燃料材	計	用材				しいたけ原木	燃料材	計	用材				しいたけ原木	燃料材									
			小計	製材用材	パルプ用材	合板用材				その他用材	小計	製材用材	パルプ用材				合板用材	その他用材	小計	製材用材			パルプ用材	合板用材	その他用材						
供給量	計	(19,140)	(6,667)	(6,667)	9,914	3,829	315	(12,473)	(19,140)	(6,667)	(6,667)	9,799	3,120	315	(12,473)	(6,667)	(6,667)	9,288	45	2,982	2,288	2,281	96	1,362	115	709	7	6	1	1	
	丸太	(6,667)	(6,667)	(6,667)	4,451	1,080		(6,667)	(6,667)	(6,667)	3,021	3,120	315	(12,473)	(6,667)	(6,667)	9,288	45	2,982	2,281	2,281	96	1,362	115	709						
	林地残材	217	217	217				217	217	217	217																				
	輸入木材製品	44,262	44,262	9,472	26,578	5,463	2,749		44,262	44,262	9,472	26,578	5,463	2,749																	
	しいたけ原木	315					315	315						315																	
燃料材	(12,473)						(12,473)	(12,473)						(12,473)							7						7	6	1	1	
国内生産	計	24,918	21,797	12,004	5,202	3,530	1,061	315	2,806	22,633	19,920	11,909	3,840	3,419	353	315	2,799	70	45	2,694	2,285	2,277	96	1,362	111	709	7	6	1	1	
	丸太	21,580	21,580	12,004	4,985	3,530	1,061		2,806	19,303	19,303	11,909	3,823	3,419	353		2,799	70	45	2,694	2,277	2,277	96	1,362	111	709					
	林地残材	217	217	217						217	217		217																		
	しいたけ原木	315					315	315						315																	
	燃料材	2,806						2,806	2,806								2,799	70	45	2,694	7						7	6	1	1	
輸入	計	50,242	49,086	13,354	26,581	6,384	2,767	1,156	50,236	49,082	13,353	26,581	6,381	2,767	1,156	858	0	236			4	4	0	3							
	丸太	4,824	4,824	3,882	3	921	18		4,820	4,820	3,882	3	918	18							4	4	0	3							
	小計	44,262	44,262	9,472	26,578	5,463	2,749		44,262	44,262	9,472	26,578	5,463	2,749																	
	製材品	9,472	9,472	9,472					9,472	9,472	9,472																				
	木材パルプ	5,555	5,555		5,555				5,555	5,555		5,555																			
	木材チップ	21,023	21,023		21,023				21,023	21,023		21,023																			
合板等	5,463	5,463		5,463				5,463	5,463		5,463																				
その他	2,749	2,749				2,749		2,749	2,749				2,749																		
燃料材	1,156						1,156	1,156						1,156	858	0	236														

注1：大角・盤等の輸入半製品については、「輸入」の「製材品」に含めた。

2：パルプ・チップ用材及び燃料用チップ等用材の()書は、工場残材及び解体材・廃材から生産された木材チップ等であり、製材用材、合板用材、その他用材に含まれるので、「総需要量」及び「国内消費」の「用材小計」には含めていない。

3：その他用材は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。

4：「林地残材」とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に工場に搬入されたものである。

5：平成20(2008)年から貿易統計の4421その他の木製品の項目に木製パネルの一部(4421.90.991)が追加されたことから、輸入のその他に計上している。

6：国内の丸太等から生産されたベレットについては、国内生産の燃料材に計上している。

7：計の不一致は四捨五入による。

8：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを新たに計上し、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更。

資料：林野庁「木材需給表」(平成27(2015)年)

33 木材需要（供給）量（丸太換算）

（単位：千m³）

	総需要 (供給)量	用材	燃料材	しいたけ 原木	用材部門別				用材供給先別			木材 自給率 (%)
					製材用	バルブ・ チップ用	合板用	その他用	国産材	輸入丸太	輸入製品	
S30 (1955)年	65,206	45,278	19,928	...	30,295	8,285	2,297	4,401	42,794	1,969	515	96.1
35 (60)	71,467	56,547	14,920	...	37,789	10,189	3,178	5,391	49,006	6,674	867	89.2
40 (65)	76,798	70,530	6,268	...	47,084	14,335	5,187	3,924	50,375	16,721	3,434	73.7
45 (70)	106,601	102,679	2,348	1,574	62,009	24,887	13,059	2,724	46,241	43,281	13,157	46.7
50 (75)	99,303	96,369	1,132	1,802	55,341	27,298	11,173	2,557	34,577	42,681	19,111	37.4
55 (80)	112,211	108,964	1,200	2,047	56,713	35,868	12,840	3,543	34,557	42,395	32,012	32.9
60 (85)	95,447	92,901	572	1,974	44,539	32,915	11,217	4,230	33,074	31,391	28,436	37.1
H2 (90)	113,242	111,162	517	1,563	53,887	41,344	14,546	1,385	29,369	33,861	47,932	27.6
7 (95)	113,698	111,922	721	1,055	50,384	44,922	14,314	2,302	22,916	25,865	63,141	21.4
12 (2000)	101,006	99,263	940	803	40,946	42,186	13,825	2,306	18,022	18,018	63,223	18.9
17 (05)	87,423	85,857	1,001	565	32,901	37,608	12,586	2,763	17,176	12,119	56,562	20.5
22 (10)	71,884	70,253	1,099	532	25,379	32,350	9,556	2,968	18,236	6,044	45,974	26.3
23 (11)	74,403	72,725	1,157	520	26,634	32,064	10,563	3,464	19,367	5,698	47,661	27.0
24 (12)	72,189	70,633	1,119	437	26,053	31,010	10,294	3,275	19,686	5,634	45,312	28.1
25 (13)	75,459	73,867	1,204	388	28,592	30,353	11,232	3,690	21,117	5,970	46,780	28.8
26 (14)	75,799	72,547	2,940	313	26,139	31,433	11,144	3,830	21,492	5,342	45,712	31.2
27 (15)	75,160	70,883	3,962	315	25,358	31,783	9,914	3,829	21,797	4,824	44,262	33.2

注1：需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、バルブ・チップ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したものの。
 2：その他用は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。
 3：木材自給率は、国産材木材供給量÷総木材供給量×100 で算出しており、18.8%(H14)がボトムとなっている。
 4：計の不一致は四捨五入による。
 5：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを新たに計上し、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更。
 資料：林野庁「木材需給表」

34 国産材・外材別の木材需要（供給）量（丸太換算）

（単位：千m³）

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	対前年 増減率(%)	
総需要(供給)量		101,006	87,423	71,884	74,403	72,189	75,459	75,799	75,160	▲0.8	
用材		99,263	85,857	70,253	72,725	70,633	73,867	72,547	70,883	▲2.3	
燃料材		940	1,001	1,099	1,157	1,119	1,204	2,940	3,962	34.8	
しいたけ原木		803	565	532	520	437	388	313	315	0.6	
用材部門別	用材	小計	99,263	85,857	70,253	72,725	70,633	73,867	72,547	70,883	▲2.3
		国産材	18,022	17,176	18,236	19,367	19,686	21,117	21,492	21,797	1.4
		外材	81,241	68,681	52,018	53,358	50,947	52,750	51,054	49,086	▲3.9
	製材用	小計	40,946	32,901	25,379	26,634	26,053	28,592	26,139	25,358	▲3.0
		国産材	12,798	11,571	10,582	11,492	11,321	12,058	12,211	12,004	▲1.7
		外材	28,148	21,330	14,797	15,142	14,732	16,534	13,928	13,354	▲4.1
	バルブ・チップ用	小計	(6,537)	(7,974)	(6,192)	(6,725)	(6,708)	(7,972)	(6,922)	(6,667)	▲3.7
		国産材	42,186	37,608	32,350	32,064	31,010	30,353	31,433	31,783	1.1
		外材	4,749	4,426	4,785	4,914	5,309	5,177	5,047	5,202	3.1
	合板用	小計	37,437	33,181	27,565	27,150	25,702	25,176	26,386	26,581	0.7
		国産材	11.3	11.8	14.8	15.3	17.1	17.1	16.1	16.4	0.3
		外材	13,825	12,586	9,556	10,563	10,294	11,232	11,144	9,914	▲11.0
	その他用	小計	138	863	2,490	2,524	2,602	3,255	3,346	3,530	5.5
		国産材	13,687	11,723	7,066	8,039	7,692	7,977	7,798	6,384	▲18.1
		外材	1.0	6.9	26.1	23.9	25.3	29.0	30.0	35.6	5.6
	その他用	小計	2,306	2,763	2,968	3,464	3,275	3,690	3,830	3,829	▲0.0
		国産材	337	316	379	438	454	627	889	1,061	19.3
		外材	1,969	2,447	2,589	3,026	2,821	3,063	2,942	2,767	▲5.9
自給率(%)	14.6	11.4	12.8	12.6	13.9	17.0	23.2	27.7	4.5		

注1：需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、チップ・バルブ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したものの。
 2：自給率=各部門別の国産材用材供給量÷総用材供給量×100
 3：その他用は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。
 4：()は、製材工場等の残材及び解体材・廃材による木材チップで、外書。
 5：計の不一致は四捨五入による。
 6：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを新たに計上し、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更。
 7：対前年増減率のうち、自給率における数値は、前年との差である。
 資料：林野庁「木材需給表」



35 我が国への産地別木材（用材）供給量（丸太換算）

（単位：千㎡、%）

			H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
外 材	米 材	計	(28.9)	(18.8)	(19.2)	(19.1)	(18.6)	(18.9)	(17.9)	(17.5)
		米 国	28,700	16,129	13,506	13,871	13,108	13,942	13,013	12,415
	カ ナ ダ	計	14,460	6,844	5,838	5,877	5,560	6,225	6,153	6,057
		マレーシア	14,240	9,285	7,668	7,993	7,548	7,717	6,860	6,359
	南洋材	計	(13.7)	(12.2)	(8.9)	(9.1)	(8.8)	(8.7)	(9.2)	(8.3)
		マレーシア	13,569	10,511	6,287	6,586	6,235	6,439	6,718	5,848
		インドネシア	6,690	5,888	3,773	3,701	3,543	3,518	3,293	2,917
	その他	計	5,858	4,137	2,304	2,622	2,506	2,787	3,328	2,804
		その他	1,021	486	209	263	186	134	97	127
	北洋材	ロシア	(7.5)	(8.6)	(3.3)	(3.3)	(3.1)	(3.2)	(3.1)	(2.9)
	欧州材	計	7,429	7,411	2,343	2,410	2,196	2,380	2,221	2,081
		ヨーロッパ州	(4.7)	(6.9)	(7.1)	(7.6)	(7.8)	(9.1)	(7.6)	(7.6)
	材 その 他の 外材	計	4,675	5,937	4,967	5,553	5,509	6,754	5,554	5,374
		ニュージーランド	(4.4)	(3.4)	(3.9)	(3.8)	(3.6)	(3.0)	(2.6)	(2.3)
チリ		4,374	2,878	2,720	2,772	2,570	2,217	1,858	1,638	
オーストラリア		(3.8)	(4.6)	(6.7)	(7.2)	(7.3)	(6.3)	(6.2)	(5.6)	
計		3,795	3,952	4,726	5,210	5,189	4,617	4,468	3,987	
中国		(8.7)	(10.2)	(11.0)	(7.7)	(7.5)	(5.6)	(5.8)	(6.6)	
その他		8,604	8,729	7,722	5,629	5,323	4,106	4,203	4,662	
ベトナム	計	(2.5)	(3.0)	(3.0)	(3.6)	(3.4)	(3.4)	(3.4)	(2.8)	
	その他	2,445	2,544	2,084	2,633	2,396	2,483	2,434	1,967	
計	計	(7.7)	(12.3)	(10.9)	(12.0)	(11.9)	(13.3)	(14.7)	(8.0)	
	その他	7,651	10,591	7,663	8,695	8,421	9,810	10,585	5,696	
国産材	計	(81.8)	(80.0)	(74.0)	(73.4)	(72.1)	(71.4)	(70.4)	(69.2)	
	計	81,241	68,681	52,018	53,358	50,947	52,750	51,054	49,086	
合 計	計	(18.2)	(20.0)	(26.0)	(26.6)	(27.9)	(28.6)	(29.6)	(30.8)	
	計	18,022	17,176	18,236	19,367	19,686	21,117	21,492	21,797	
合 計			(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	
			99,263	85,857	70,253	72,725	70,633	73,867	72,547	70,883

- 注1：この表の数値は、国産丸太及び輸入丸太の供給量に、丸太材積に換算した輸入製材品、パルプ・チップ、合板等の値を加えて、各国別の供給量を算出したもの。
 2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。
 3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。
 4：その他の外材のその他とは、アフリカ諸国等からの輸入である。
 5：ベトナムについては、平成26(2014)年以前はその他の外材のその他を含む。
 6：計の不一致は四捨五入による。
 7：()は、合計に占める割合。

資料：財務省「貿易統計」、林野庁「木材需給表」

36 我が国への製材用木材供給量（丸太換算）

（単位：千㎡）

			H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
輸入製材品	米 材	計	8,233	5,187	4,266	4,322	4,278	4,457	3,677	3,635
		米 国	1,112	268	624	709	674	737	558	511
	カ ナ ダ	計	7,121	4,919	3,642	3,613	3,604	3,720	3,119	3,124
		マレーシア	1,289	579	215	231	230	200	210	187
	南洋材	マレーシア	651	311	170	173	174	148	159	137
		インドネシア	622	259	34	42	44	38	38	36
	その他	計	16	9	11	16	12	14	13	14
		その他	878	1,695	1,174	1,368	1,218	1,397	1,225	1,218
	北洋材	ロシア	878	1,695	1,174	1,368	1,218	1,397	1,225	1,218
	欧州材	計	3,448	4,528	3,558	3,885	3,831	5,021	3,913	3,746
		ヨーロッパ州	433	273	195	208	156	121	126	117
	その他	計	778	660	454	552	447	437	558	449
		その他	854	384	273	246	211	201	167	119
	輸入製材品計			15,913	13,305	10,136	10,813	10,371	11,835	9,876
輸入製材用丸太	米 材	材	7,311	4,927	3,402	3,202	3,336	3,764	3,244	3,151
	南洋材	材	425	237	83	94	80	70	71	63
	北洋材	材	3,259	1,938	355	291	181	218	188	119
	ニュージーランド材	材	1,058	744	763	664	727	612	473	427
	その他	材	182	179	58	78	37	35	76	124
輸入製材用丸太計			12,235	8,025	4,661	4,329	4,361	4,699	4,052	3,882
国産材製材用丸太			12,798	11,571	10,582	11,492	11,321	12,058	12,211	12,004
合 計			40,946	32,901	25,379	26,634	26,053	28,592	26,139	25,358

- 注1：輸入製材品の値は、貿易統計の結果を丸太材積に換算したものである。
 2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。
 3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。
 4：その他の外材のその他とは、中国、オーストラリア、アフリカ諸国等からの輸入である。
 5：輸入製材用丸太は、「木材需給報告書」の値から半製品を差し引いたものである。
 6：国産材製材用丸太は、「木材需給報告書」の値である。なお、同報告書(資料)のデータは製材工場に入荷する時点をとらえたものである。
 7：計の不一致は四捨五入による。

資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」、林野庁「木材需給表」

37 木材の主な品目別輸入量

(単位：千㎡)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
丸太	総数	15,948	10,654	4,757	4,512	4,556	4,152	3,450	3,652
	米材	4,786	3,453	2,980	3,120	3,413	3,109	2,622	2,832
	南洋材	3,032	1,409	554	336	277	267	233	210
	北洋材	5,605	4,689	447	273	228	214	147	155
	ニュージーランド材	1,843	922	737	718	605	534	422	432
	チリ材	110	106	0	...	0	...
	欧州材	70	36	30	25	20	19	18	17
	アフリカ材	231	12	3	4	5	4	5	4
	その他	43	9	5	2	2	2	1	1
製材品	総数	230	18	2	34	6	3	2	2
	米材	9,951	8,395	6,415	6,562	7,498	6,249	5,997	6,315
	南洋材	5,223	3,293	2,709	2,714	2,829	2,330	2,305	2,209
	南洋材	721	319	119	127	111	117	103	97
	北洋材	559	1,078	747	774	889	779	775	887
	ニュージーランド材	276	174	124	99	77	80	74	69
	チリ材	496	420	289	285	278	355	286	251
	欧州材	2,189	2,878	2,264	2,436	3,194	2,489	2,383	2,730
	アフリカ材	4	1	2	4	5	3	4	4
合板	中 国	375	155	104	95	83	65	46	38
	その他	109	77	56	28	33	30	19	29
	総数	4,609	4,118	2,654	2,960	3,026	2,844	2,274	2,156
	米材	186	32	5	8	7	6	2	2
	南洋材	4,280	3,795	2,300	2,525	2,550	2,381	1,947	1,867
	その他	142	291	348	428	469	457	325	286

注1：合板は集成材等の積層木材を含まない。
 2：南洋材はフィリピン、インドネシア、マレーシア、バプア・ニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島、ブルネイの7か国より輸入された材。
 3：欧州材は、ロシアを除くヨーロッパ各国より輸入された材。
 4：計の不一致は四捨五入による。
 資料：財務省「貿易統計」

38 近年の丸太価格

(単位：円/㎡)

年・月	国産材			米材		北洋材
	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	カラマツ中丸太	ベイツガ丸太	ベイマツ丸太	北洋エゾマツ丸太
	径 14～22cm 長 3.65～4.0m	径 14～22cm 長 3.65～4.0m	径 14～28cm 長 3.65～4.0m	径 30cm上 長 6.0m上	径 30cm上 長 6.0m上	径 20～28cm 長 3.8m上
H23 (2011) 年	12,300	21,700	10,800	24,400	25,600	24,700
24 (12)	11,400	18,500	10,600	24,000	23,800	23,800
25 (13)	11,500	19,700	10,700	23,000	29,300	25,400
26 (14)	13,500	20,000	11,700	25,100	30,100	26,900
27 (15)	12,700	17,600	11,700	24,800	32,100	25,600
28 (16)	12,300	17,600	11,800	25,000	31,000	23,300
28年 1月	12,600	17,900	11,600	24,600	32,800	25,200
2月	12,500	17,800	11,700	25,500	32,200	23,700
3月	12,200	17,500	11,700	25,700	32,000	23,700
4月	12,000	17,300	11,700	25,700	32,200	23,700
5月	11,600	17,300	11,700	25,300	31,800	23,200
6月	11,700	17,100	11,700	25,100	28,500	23,200
7月	11,800	17,200	11,800	25,500	28,900	23,200
8月	12,100	17,400	11,800	24,600	30,700	23,200
9月	12,200	17,400	11,800	24,900	31,100	22,500
10月	12,700	17,900	11,800	25,000	29,600	22,500
11月	12,900	18,300	11,800	24,400	30,500	22,500
12月	13,000	18,400	11,900	23,900	31,800	22,500

注1：価格は、各工場における工場着購入価格。
 2：スギ中丸太から北洋エゾマツまでいずれも平成22(2010)年の推定消費量による加重平均値である。
 3：平成25(2013)年の調査対象等の見直しにより、平成25(2013)年からのスギ中丸太、ベイツガ丸太、ベイマツ丸太のデータは、平成24(2012)年までのデータと必ずしも連続していない。
 資料：農林水産省「木材価格」



39 近年の製材品価格

(単位：円/㎡、合板は円/枚)

年・月	国産材				米材			針葉樹合板
	スギ正角	スギ正角 (乾燥材)	ヒノキ正角	ヒノキ正角 (乾燥材)	ベイツガ正角 (防腐処理材)	ベイツガ正角		
	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 12.0cm 幅 12.0cm 長 4.0m 2級	厚 10.5～12cm 幅 24.0cm 長 3.65～4.0m 2級	厚 1.2cm 幅 91.0cm 長 1.82m 1類				
H23 (2011) 年	43,600	63,800	66,600	83,700	66,300	55,100	1,140	
24 (12)	42,700	62,400	64,600	81,400	66,300	54,900	1,060	
25 (13)	48,600	62,700	73,000	85,200	70,900	65,700	1,140	
26 (14)	58,200	69,400	82,600	96,100	74,100	70,100	1,200	
27 (15)	58,100	65,100	78,600	84,600	75,300	70,400	1,090	
28 (16)	57,400	65,100	79,300	83,000	75,400	69,900	1,190	
28年 1月	57,900	65,200	79,200	83,000	75,400	70,100	1,160	
2月	57,900	65,200	79,200	83,000	75,400	70,100	1,180	
3月	57,600	64,900	79,200	82,900	75,400	70,000	1,170	
4月	57,500	64,900	79,100	82,900	75,400	69,900	1,170	
5月	57,500	64,900	79,100	82,900	75,400	69,900	1,180	
6月	57,500	65,000	79,100	82,800	75,400	69,900	1,180	
7月	57,200	64,800	79,100	82,600	75,400	69,700	1,180	
8月	57,200	65,100	79,100	82,500	75,400	69,800	1,190	
9月	57,200	65,200	79,200	83,000	75,400	69,700	1,200	
10月	57,100	65,200	79,200	83,200	74,900	69,700	1,220	
11月	57,100	65,300	79,500	83,200	75,300	69,800	1,220	
12月	57,300	65,700	80,000	84,000	75,900	69,800	1,230	

注1：価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。
 2：スギ正角、スギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、ヒノキ正角(乾燥材)、ベイツガ正角(防腐処理材)、ベイツガ正角、針葉樹合板のいずれも平成24(2012)年までは平成17(2005)年における年間の推定販売量による加重平均値、平成25(2013)年からは平成23(2011)年における年間の推定販売量による加重平均値である。
 3：平成25(2013)年の調査対象等の見直しにより、平成25(2013)年からのスギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、ヒノキ正角(乾燥材)、針葉樹合板のデータは、平成24(2012)年までのデータと必ずしも連続していない。
 資料：農林水産省「木材価格」

40 山元立木価格、丸太価格、製材品価格、山林素地価格

(単位：円/㎡)

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格			全国平均用材林地価格 (10a当たり)
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	ベイツガ丸太	スギ正角	ヒノキ正角	ベイツガ正角	
				径14～22cm 長3.65～4.0m	径14～22cm 長3.65～4.0m	径30cm上 長6.0m上	厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	
S30 (1955) 年	4,478	5,046	2,976	8,400	9,300	...	14,100	20,800	...	8,927
35 (60)	7,148	7,996	4,600	11,300	12,000	...	17,800	26,400	...	16,005
40 (65)	9,380	10,645	5,743	14,300	18,000	12,900	22,900	35,600	...	20,586
45 (70)	13,168	21,352	7,677	18,800	37,600	14,800	35,500	80,100	...	32,705
50 (75)	19,726	35,894	10,899	31,700	66,200	24,800	61,200	122,900	40,100	64,797
55 (80)	22,707	42,947	11,162	39,600	76,400	35,100	72,700	146,700	58,000	85,990
60 (85)	15,156	30,991	7,920	25,500	54,000	25,500	52,800	91,700	45,800	86,820
H2 (90)	14,595	33,607	7,528	26,600	67,800	26,500	61,700	120,200	55,600	83,038
7 (95)	11,730	27,607	5,966	21,700	53,500	25,800	56,800	100,600	56,400	75,633
12 (2000)	7,794	19,297	4,168	17,200	40,300	22,200	47,400	75,700	49,500	68,659
17 (05)	3,628	11,988	2,037	12,400	25,500	23,000	41,800	67,200	51,200	59,991
22 (10)	2,654	8,128	1,496	11,800	21,600	24,200	41,600	64,900	...	50,899
25 (13)	2,465	6,493	1,376	11,500	19,700	23,000	48,600	73,000	...	45,733
26 (14)	2,968	7,507	1,638	13,500	20,000	25,100	58,200	82,600	...	44,844
27 (15)	2,833	6,284	1,531	12,700	17,600	24,800	58,100	78,600	...	44,277
28 (16)	2,804	6,170	1,681	12,300	17,600	25,000	57,400	79,300	...	43,478

注1：山元立木価格は、利用材積1㎡当たり平均価格(各年3月末現在)。
 2：丸太価格は、各工場における工場着購入価格。
 3：製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。
 4：製材品価格のうちベイツガ正角については、平成19(2007)年に、統計の調査品目から削除された。
 資料：一般財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書(平成7(2005)年9月)」「昭和30(1955)～平成2(1990)年」「木材需給報告書」(平成7(1995)～28(2016)年)

41 特用林産物の生産量及び生産額

		単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	対前年 増減率 (%)
食用	乾しいたけ	トン	5,236	4,091	3,516	3,705	3,499	3,175	2,631	▲ 17.1
		百万円	13,106	13,484	15,064	12,798	8,974	9,238	12,730	37.8
	生しいたけ	トン	67,224	65,186	77,079	66,476	67,946	67,510	68,285	1.1
		百万円	69,375	68,837	72,146	61,623	66,519	69,130	70,402	1.8
	なめこ	トン	24,942	24,801	27,261	25,816	23,383	21,796	22,897	5.1
		百万円	11,848	9,375	10,141	7,590	8,020	8,740	9,731	11.3
	えのきたけ	トン	109,510	114,542	140,951	130,871	133,647	135,919	131,683	▲ 3.1
		百万円	38,438	30,583	32,842	32,194	32,476	33,980	34,238	0.8
	ひらたけ	トン	8,546	4,074	2,535	1,883	2,290	2,327	3,263	40.2
		百万円	3,718	1,552	1,080	691	893	940	1,436	52.8
ぶなしめじ	トン	82,414	99,787	110,486	122,276	117,363	115,751	116,152	0.3	
	百万円	44,586	42,310	54,138	49,766	53,635	51,972	52,152	0.3	
まいたけ	トン	38,998	45,111	43,446	43,251	45,453	49,541	48,852	▲ 1.4	
	百万円	29,833	27,969	32,628	27,594	29,635	33,886	31,656	▲ 6.6	
くり	トン	17,488	12,370	23,500	20,900	21,000	21,400	16,300	▲ 23.8	
	百万円	6,873	5,208	8,860	9,321	10,794	9,544	8,525	▲ 10.7	
その他	百万円	58,613	59,313	49,613	40,779	42,179	44,988	44,503	▲ 1.1	
計	百万円	276,390	258,631	276,512	242,356	253,125	262,418	265,373	1.1	
非食用	生うるし	kg	1,808	1,340	1,580	1,438	1,045	1,003	1,182	17.8
		百万円	68	48	73	60	49	48	56	16.7
	竹材	千束	2,008	1,290	963	1,199	1,196	1,178	1,235	4.8
		百万円	1,994	1,181	790	840	767	741	780	5.3
	桐材	m	3,213	1,757	817	589	647	669	599	▲ 10.5
		百万円	261	141	66	47	52	54	48	▲ 11.1
	木炭 (竹炭を含む)	トン	56,456	35,029	25,888	23,648	22,528	20,880	18,210	▲ 12.8
百万円		6,556	5,356	3,416	2,714	2,997	2,779	2,493	▲ 10.3	
その他	百万円	11,781	11,523	3,928	4,748	4,542	5,225	4,868	▲ 6.8	
計	百万円	20,660	18,249	8,273	8,409	8,407	8,847	8,245	▲ 6.8	
合計	百万円	297,050	276,880	284,785	250,765	261,532	271,265	273,618	0.9	

資料：林野庁「特用林産基礎資料」、農林水産省「作物統計」

木材産業等

42 製材工場数

		単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
製材工場数		工場	11,692	9,011	6,569	6,242	5,927	5,690	5,468	5,205
7.5～22.5kW未満 22.5～37.5 37.5～75.0 75.0～150.0 150.0～300.0 300.0kW以上	7.5～22.5kW未満	工場	1,137	899	784	757	716	716	692	635
	22.5～37.5	工場	2,635	1,919	1,333	1,286	1,195	1,140	1,079	1,033
	37.5～75.0	工場	4,406	3,371	2,165	2,015	1,891	1,759	1,684	1,571
	75.0～150.0	工場	1,991	1,552	1,196	1,124	1,082	1,039	990	959
	150.0～300.0	工場	980	782	641	619	601	604	607	592
	300.0kW以上	工場	543	488	450	441	442	432	416	415

注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)であり、製材用動力の出力数が7.5kW未満の工場を除く。

資料：農林水産省「木材需給報告書」

43 用途別製材品出荷量

(単位：千m)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
建築用材		13,813	10,507	7,642	7,434	7,484	8,265	7,875	7,481
土木建設用材		698	479	380	436	424	476	409	410
木箱仕組板・梱包用材		1,862	1,400	1,087	1,224	1,110	1,084	1,033	1,048
家具・建具用材		368	150	69	80	60	57	56	63
その他用材		490	289	237	260	224	218	222	227
計		17,231	12,825	9,415	9,434	9,302	10,100	9,595	9,231
うち人工乾燥材		…	2,116	2,544	2,632	2,744	2,984	3,219	3,153

注：出力7.5kW以上の製材工場の数値。

資料：農林水産省「木材需給報告書」



44 国産材・外材別製材工場数及び製材用素材入荷量

(単位：工場、千㎡)

	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
H12 (2000)年	11,633	26,526	5,444	9,663	4,614	6,775	1,575	10,088
17 (05)	8,955	20,540	4,978	9,704	3,017	3,839	960	6,997
22 (10)	6,486	15,762	4,442	9,344	1,618	2,314	426	4,104
23 (11)	6,175	16,426	4,372	10,326	1,406	3,104	397	2,996
24 (12)	5,883	16,247	4,164	10,251	1,326	2,868	393	3,128
25 (13)	5,659	17,271	4,147	10,975	1,163	3,190	349	3,106
26 (14)	5,435	16,661	4,111	11,114	1,012	3,816	312	1,731
27 (15)	5,118	16,182	3,905	10,948	924	3,793	289	1,436

注：工場数は素材の入荷があった工場で、かつ製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場を対象とした。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

45 合板工場数及び生産量

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	
合 単 板 工 場 数	工場	354	271	192	203	197	195	186	185	
生 産 量	普通合板生産量	千㎡	3,218	3,212	2,645	2,486	2,549	2,811	2,813	2,756
	うち針葉樹合板	千㎡	…	2,249	2,281	2,198	2,333	2,627	2,615	2,569
	特殊合板生産量	千㎡	1,534	1,037	647	703	640	654	584	524

注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

46 合板用素材の入荷量

(単位：千㎡)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
入 荷 量 合 計		5,401	4,636	3,811	3,858	3,837	4,181	4,405	4,218
国 産 材	小 計	138	863	2,490	2,524	2,602	3,016	3,191	3,356
	針 葉 樹	60	833	2,476	2,514	2,593	3,006	3,177	3,340
	す ぎ	0	542	1,538	1,550	1,593	1,922	2,111	2,087
	か ら ま つ	51	210	649	727	690	733	681	687
外 材	広 葉 樹	78	30	14	10	9	10	14	16
	小 計	5,263	3,773	1,321	1,334	1,235	1,165	1,214	864
	針 葉 樹	…	2,624	866	665	673	667	941	619
	南 洋 材	2,597	1,108	424	347	251	204	216	193
	ラ ワ ン 材	1,738	800	341	337	244	204	216	189
	米 材	29	13	412	877	855	871	869	544
	北 洋 材	1,893	2,506	431	92	x	x	88	100
	ニュージーランド材	603	124	44	x	x	x	35	20
そ の 他	141	22	10	x	x	3	6	5	

注：「X」は個人又はその他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

47 集成材製造業の企業数

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
集 成 材 企 業 数	工場	281	259	182	181	174	166	165	157

資料：日本集成材工業協同組合

48 集成材の生産量及び輸入量

(単位：千㎡)

	国 内 生 産 量								輸 入 量		
	造 作 用			構 造 用					合 計	集 成 材	グ ル ー ラ ム
	化粧ばり	無化粧	計	化粧ばり	小断面	中断面	大断面	計			
H7 (1995)年	232	142	374	97	44	37	30	208	582	43	148
12 (2000)	163	106	270	71	326	189	36	622	892	106	445
17 (05)	119	83	202	28	646	594	41	1,310	1,512	162	671
22 (10)	77	76	152	7	576	692	26	1,302	1,455	118	564
23 (11)	71	79	149	5	585	689	27	1,306	1,455	138	674
24 (12)	72	78	150	6	621	718	29	1,374	1,524	122	674
25 (13)	72	82	153	6	671	783	33	1,493	1,647	108	761
26 (14)	64	82	146	4	646	719	41	1,409	1,555	112	728
27 (15)	55	83	140	4	600	705	37	1,347	1,485	114	705

注：計の不一致は四捨五入による。
資料：財務省「貿易統計」、日本集成材工業協同組合調べ。

49 木材チップ工場数

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
チップ工場数	工場	2,657	2,040	1,577	1,545	1,536	1,510	1,477	1,424

注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

50 木材チップ生産量

(単位：千m³(平成12(2000)年)、千トン(平成17(2005)年～))

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
木材チップ生産量		10,851	6,005	5,407	5,633	5,861	6,452	5,850	5,745
原材料別	素材(原木)	4,282	2,235	2,408	2,376	2,554	2,610	2,537	2,558
	工場残材	5,130	2,188	1,839	1,722	1,663	2,006	1,980	1,870
	林地残材	32	67	133	145	193	142	110	105
	解体材・廃材	1,407	1,515	1,027	1,390	1,451	1,694	1,223	1,207
樹種別	針葉樹	7,395	2,952	2,786	2,783	2,877	3,207	3,222	3,183
	広葉樹	3,456	1,538	1,594	1,460	1,533	1,551	1,405	1,353

資料：農林水産省「木材需給報告書」

51 プレカット工場数とシェア

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
プレカット工場数	877	837	768	730	707	702	671	640
木造軸組構法住宅のうち プレカットのシェア(%)	52	79	87	88	88	90	90	91

資料：一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会

52 木材市売市場・木材センター数及び取扱量

(単位：千m³(m³))

		S55年 (1980)	59 (84)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	23 (11)	
事業所数	計	645	613	624	567	516	465	
	木材市売市場	576	556	574	523	
	木材センター	69	57	50	44	
木材市売市場・ 木材センター	素材流通業者	事業所数	509	482	480	425	...	
		素材仕入量	8,622	8,785	9,128	8,907	9,039	9,557
		1事業所当たり取扱量	(16,939)	(18,226)	(19,017)	(20,958)
	製品流通業者	事業所数	346	315	309	274
		製品販売量	8,224	6,951	7,600	5,092	4,288	4,049
		1事業所当たり取扱量	(23,769)	(22,067)	(24,595)	(18,584)

注1：木材市売市場とは、市売売買(定められた日時に、売り手と買い手が「せり」又は「入札」によって売買価格を決定する方法)と称される売買方式によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

2：木材センターとは、二つ以上の売り手を同一の場所に集め、買い手を対象として相対取引によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

3：事業所数の内訳(木材市売市場及び木材センター)は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

4：木材市売市場・木材センターの各項目の中の事業所数は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

53 木材販売業者数及び取扱量

(単位：千m³(m³))

		S55年 (1980)	59 (84)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	23 (11)	
事業所数	計	18,147	17,085	15,584	10,578	9,430	8,404	
	卸売	4,830	4,887	4,693	
	小売	13,317	12,198	10,891	
木材販売業者	総数	事業所数	14,702	13,998	13,198	9,695
		製材品販売量	33,384	31,051	35,530	21,225	18,069	21,081
		1事業所当たり取扱量	(2,271)	(2,218)	(2,692)	(2,189)
	国産材	事業所数	13,400	12,792	11,762	8,852
		製材品販売量	9,881	10,970	10,188	6,340	6,822	7,799
		1事業所当たり取扱量	(737)	(858)	(866)	(716)
外材	事業所数	13,357	12,485	11,616	8,442	
	製材品販売量	23,503	20,081	25,342	14,886	11,248	13,282	
	1事業所当たり取扱量	(1,760)	(1,608)	(2,182)	(1,763)	

注1：木材販売業者とは、木材を購入して販売する事業所をいう。

2：事業所数の内訳(卸売及び小売)は平成13(2001)年の統計調査項目から削除された。

3：木材販売業者の各項目の中の事業所数は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」



54 新設住宅着工戸数及び床面積

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)
新設住宅着工戸数 (戸)	総数	1,229,843	1,236,175	813,126	882,797	980,025	892,261	909,299	967,237	6.4
	資金別									
	民間資金	752,205	1,044,946	690,736	765,704	864,411	792,283	806,400	861,669	6.9
	公的資金	477,638	191,229	122,390	117,093	115,614	99,978	102,899	105,568	2.6
	利用関係別									
	持家	451,522	353,267	305,221	311,589	354,772	285,270	283,366	292,287	3.1
	分譲住宅	345,291	369,067	201,888	246,810	263,931	237,428	241,201	250,532	3.9
貸与住宅	421,332	504,294	298,014	318,521	356,263	362,191	378,718	418,543	10.5	
給与住宅	11,698	9,547	8,003	5,877	5,059	7,372	6,014	5,875	▲ 2.3	
構造別										
木造率(%)	(45.2)	(43.9)	(56.6)	(55.1)	(56.1)	(54.9)	(55.5)	(56.5)	1.0	
木造	555,814	542,848	460,134	486,756	549,971	489,463	504,318	546,336	8.3	
非木造	674,029	693,327	352,992	396,041	430,054	402,798	404,981	420,901	3.9	
新設住宅着工床面積 (千㎡)	総数	119,879	106,593	72,910	78,413	87,210	75,681	75,059	78,183	4.2
資金別										
民間資金	65,116	88,446	61,641	67,301	76,274	66,572	65,654	68,498	4.3	
公的資金	54,763	18,147	11,268	11,112	10,936	9,108	9,405	9,686	3.0	
利用関係別										
持家	63,009	47,320	38,533	38,913	44,371	35,342	34,825	35,662	2.4	
分譲住宅	33,520	34,995	19,023	22,845	24,245	21,765	21,502	22,451	4.4	
貸与住宅	22,526	23,616	14,849	16,242	18,182	18,062	18,334	19,639	7.1	
給与住宅	823	662	505	412	412	512	397	432	8.8	
構造別										
木造率(%)	(53.8)	(53.0)	(64.8)	(63.1)	(64.6)	(63.5)	(64.3)	(65.2)	0.9	
木造	64,531	56,494	47,278	49,492	56,342	48,068	48,279	50,992	5.6	
非木造	55,347	50,100	25,632	28,921	30,868	27,613	26,780	27,191	1.5	
1戸当たり床面積 (㎡)	総数	97.5	86.2	89.7	88.8	89.0	84.8	82.5	80.8	▲ 2.1
資金別										
民間資金	86.6	84.6	89.2	87.9	88.2	84.0	81.4	79.5	▲ 2.4	
公的資金	114.7	94.9	92.1	94.9	94.6	91.1	91.4	91.8	0.4	
利用関係別										
持家	139.5	133.9	126.2	124.9	125.1	123.9	122.9	122.0	▲ 0.7	
分譲住宅	97.1	94.8	94.2	92.6	91.9	91.7	89.1	89.6	0.5	
貸与住宅	53.5	46.8	49.8	51.0	51.0	49.9	48.4	46.9	▲ 3.1	
給与住宅	70.4	69.3	63.1	70.1	81.4	69.5	66.0	73.5	11.4	
構造別										
木造	116.1	104.1	102.7	101.7	102.4	98.2	95.7	93.3	▲ 2.5	
非木造	82.1	72.3	72.6	73.0	71.8	68.6	66.1	64.6	▲ 2.3	

注1：資金別で公的資金と民間資金を併用した住宅は、公的資金に含めて計上した。

2：対前年増減率のうち、木造率における数値は、前年との差である。

3：計の不一致は四捨五入による。

資料：国土交通省「住宅着工統計」

55 工法別新設木造住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)
木造軸組構法住宅	(80.3) 446,359	(78.5) 426,299	(76.0) 349,865	(74.8) 364,092	(75.1) 412,892	(74.2) 362,994	(74.4) 375,357	(74.8) 408,632	8.9
ツーバイフォー工法住宅	(14.2) 79,114	(17.7) 95,824	(20.9) 96,104	(22.1) 107,487	(21.8) 120,111	(22.8) 111,503	(22.7) 114,617	(22.6) 123,713	7.9
木質系プレハブ工法住宅	(5.5) 30,341	(3.8) 20,725	(3.1) 14,165	(3.1) 15,177	(3.1) 16,968	(3.1) 14,966	(2.8) 14,344	(2.6) 13,991	▲ 2.5
合計	555,814	542,848	460,134	486,756	549,971	489,463	504,318	546,336	8.3

注1：()は、新設木造住宅着工戸数に占める割合。

2：計の不一致は四捨五入による。

資料：国土交通省「住宅着工統計」

海外の森林

56 世界各国の森林面積

国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)
オーストリア	8,244	3,869	1,692	46.9	アンゴラ	124,670	57,856	125	46.4
ベルギー・ルクセンブルグ	3,287	770	422	23.4	カメルーン	47,271	18,816	26	39.8
チェコ	7,722	2,667	2,643	34.5	コートジボワール	31,800	10,401	427	32.7
デンマーク	4,243	612	464	14.4	スーダン	186,665	19,210	6,121	10.3
エストニア	4,239	2,232	174	52.7	コンゴ民主共和国	226,705	152,578	60	67.3
フィンランド	30,390	22,218	6,775	73.1	エチオピア	109,631	12,499	972	11.4
フランス	54,766	16,989	1,967	31.0	マダガスカル	58,154	12,473	312	21.4
ドイツ	34,861	11,419	5,295	32.8	モザンビーク	78,638	37,940	75	48.2
ギリシャ	12,890	4,054	140	31.5	タンザニア	88,580	46,060	290	52.0
ハンガリー	9,127	2,069	1,652	22.7	ザンビア	74,339	48,635	64	65.4
アイスランド	10,025	49	38	0.5	ジンバブエ	38,685	14,062	87	36.4
アイルランド	6,889	754	683	10.9	アフリカ計	2,986,544	624,103	16,325	20.9
イタリア	29,414	9,297	639	31.6	中国	942,530	208,321	78,982	22.1
ラトビア	6,220	3,356	612	54.0	インド	297,319	70,682	12,031	23.8
オランダ	3,375	376	376	11.1	インドネシア	171,857	91,010	4,946	53.0
ノルウェー	30,427	12,112	1,529	39.8	イラン	184,806	10,692	941	5.8
ポーランド	30,622	9,435	8,957	30.8	イスラエル	2,164	165	89	7.6
ポルトガル	9,026	3,182	891	35.3	日本	36,450	24,958	10,270	68.5
ロシア	1,637,687	814,931	19,841	49.8	マレーシア	32,855	22,195	1,966	67.6
スロバキア	4,809	1,940	960	40.3	ミャンマー	65,755	29,041	944	44.2
スロベニア	2,014	1,248	34	62.0	韓国	9,710	6,184	1,866	63.7
スペイン	49,880	18,418	2,909	36.9	タイ	51,089	16,399	3,986	32.1
スウェーデン	41,034	28,073	13,737	68.4	トルコ	76,963	11,715	3,386	15.2
スイス	4,000	1,254	172	31.4	ベトナム	31,007	14,773	3,663	47.6
英国	24,193	3,144	...	13.0	アジア計	3,117,641	593,362	128,546	19.0
ヨーロッパ計	2,213,947	1,015,482	82,006	45.9	カナダ	909,351	347,069	15,784	38.2
アルゼンチン	273,669	27,112	1,202	9.9	メキシコ	194,395	66,040	87	34.0
ボリビア	108,330	54,764	26	50.6	米国	916,192	310,095	26,364	33.8
ブラジル	835,814	493,538	7,736	59.0	北中央アメリカ計	2,134,366	750,653	43,320	35.2
チリ	74,353	17,735	3,044	23.9	オーストラリア	768,230	124,751	2,017	16.2
コロンビア	110,950	58,502	71	52.7	ニュージーランド	26,331	10,152	2,087	38.6
エクアドル	24,836	12,548	55	50.5	オセアニア計	849,680	173,524	4,381	20.4
ベルー	128,000	73,973	1,157	57.8	世界計	13,048,777	3,999,134	289,599	30.6
ベネズエラ	88,205	46,683	557	52.9					
南アメリカ計	1,746,599	842,011	15,022	48.2					

注1：OECD加盟国、及び、森林面積が1,000万ha以上でかつ人口が1,000万人以上の国を対象。

2：「…」はデータ無し。

3：土地面積は内水面面積を除く。

資料：FAO「The Global Forest Resources Assessment 2015」



57 世界の木材生産量と木材貿易量

① 木材生産量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千m³)

地域	丸太	産業用材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	3,713,681	1,847,719	1,865,962	452,255	399,368	175,622	
大陸別	アフリカ	737,603	72,060	665,543	10,234	3,069	2,448
	北米	568,915	519,930	48,985	124,018	46,600	66,958
	中南米	489,982	225,390	264,592	34,710	19,785	26,606
	アジア	1,117,409	387,877	729,532	124,524	246,254	30,710
	ヨーロッパ	725,645	578,969	146,676	149,273	79,822	46,039
	オセアニア	74,128	63,494	10,635	9,496	3,838	2,862

② 木材輸出量

地域	丸太	産業用材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	131,751	122,408	9,343	134,450	85,678	59,069	
大陸別	アフリカ	5,626	5,320	307	1,766	464	1,085
	北米	17,996	17,561	436	37,094	9,929	17,644
	中南米	1,250	1,237	13	5,782	4,723	18,994
	アジア	6,088	6,067	21	7,200	30,030	4,713
	ヨーロッパ	75,011	66,468	8,543	80,411	39,552	15,543
	オセアニア	25,780	25,756	24	2,197	979	1,090

③ 木材輸入量

地域	丸太	産業用材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	129,165	123,425	5,740	130,851	79,514	58,713	
大陸別	アフリカ	1,315	784	531	10,823	2,128	562
	北米	5,987	5,810	177	25,790	15,337	5,684
	中南米	457	454	2	2,596	3,267	2,106
	アジア	62,874	62,739	134	51,963	24,115	31,113
	ヨーロッパ	58,413	53,518	4,895	38,535	33,852	18,880
	オセアニア	120	118	2	1,144	815	369

- 注1：2015年の数値。
 2：輸出入量における産業用材については、チップ、残材を含む。
 3：製材は、枕木を含む。
 4：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。
 5：計の不一致は四捨五入による。
 資料：FAO「FAOSTAT」

58 産業用材の主な生産・輸出入国 (単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	368,572	ロシア	19,437	中 国	44,550
ロシア	190,507	ニュージーランド	14,691	ドイツ	8,579
中 国	165,729	米 国	11,498	オーストリア	7,660
カナダ	151,358	カナダ	6,063	スウェーデン	6,941
ブラジル	136,277	オーストリア	5,442	フィンランド	5,709
世界計	1,847,719	世界計	122,408	世界計	123,425

- 注1：2015年の数値。
 2：輸出入量及び輸入量については、チップ、残材を含む。
 3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。
 4：中国はChina, mainlandの数値。
 資料：FAO「FAOSTAT」

59 製材の主な生産・輸出入国 (単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	76,904	カナダ	30,795	中 国	26,080
中 国	74,304	ロシア	23,810	米 国	24,497
カナダ	47,114	スウェーデン	12,832	英 国	6,323
ロシア	34,650	フィンランド	7,881	日 本	5,997
ドイツ	21,466	ドイツ	7,179	エジプト	5,951
世界計	452,255	世界計	134,450	世界計	130,851

- 注1：2015年の数値。
 2：枕木を含む。
 3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。
 4：中国はChina, mainlandの数値。
 資料：FAO「FAOSTAT」

60 合板等の主な生産・輸出入国 (単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
中 国	200,343	中 国	14,762	米 国	12,016
米 国	33,811	カナダ	7,665	ドイツ	5,403
ロシア	13,606	ドイツ	6,043	日 本	4,227
カナダ	12,789	マレーシア	5,387	カナダ	3,317
ドイツ	12,230	ロシア	4,437	英 国	3,217
世界計	399,368	世界計	85,678	世界計	79,514

- 注1：2015年の数値。
 2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。
 3：中国はChina, mainlandの数値。
 資料：FAO「FAOSTAT」

61 木質パルプの主な生産・輸出入国 (単位：千トン)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	49,368	ブラジル	12,043	中 国	19,795
ブラジル	17,813	カナダ	9,912	米 国	5,353
カナダ	17,590	米 国	7,732	ドイツ	4,849
スウェーデン	11,622	チリ	4,418	イタリア	3,478
フィンランド	10,450	スウェーデン	3,484	韓 国	2,316
世界計	175,622	世界計	59,069	世界計	58,713

- 注1：2015年の数値。
 2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。
 3：中国はChina, mainlandの数値。
 資料：FAO「FAOSTAT」

62 JICAを通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト等

地域	国名	プロジェクト名等	活動の内容
アジア	インドネシア	日本インドネシアREDD+実施メカニズム構築プロジェクト 2013年6月～2018年6月	森林保全及び気候変動対策としてREDD+を推進し、効果的なREDD+実施メカニズムを構築。西カリマンタン州でパイロット活動。
	ラオス	持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト 2014年9月～2020年9月	持続可能な森林管理及びREDD+に必要な関連情報やデータを包括的に運用管理するシステムの構築と人材育成。
	ベトナム	持続的自然資源管理プロジェクト 2015年8月～2020年8月	持続的自然資源管理に必要な国家能力が強化されるため、政策、持続的森林管理・REDD+、生物多様性の活動の実施。
	カンボジア	REDD+戦略政策支援実施プロジェクト 2011年6月～2017年11月	REDD+の戦略と政策の実施が円滑に行われるために必要な関係者の能力強化。
	東ティモール	持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクトフェーズII 2016年6月～2020年6月	中山間地の貧困農民を対象とした住民参加型の土地利用計画と天然資源管理の実践。
	キルギス	林産品による地方ビジネス開発プロジェクト 2015年11月～2019年10月	共同森林管理活動を通じて、林産品ビジネスの振興を図る。
	パプアニューギニア	気候変動対策のためのPNG森林資源情報管理システムの活用に関する能力向上プロジェクト 2014年8月～2019年8月	森林情報の継続的な更新と森林資源情報管理システムの運用及び活用のための関係者の能力強化。
中南米	ブラジル	“フィールドミュージアム”構想によるアマゾンの生物多様性保全プロジェクト(※) 2014年7月～2019年6月	生態系を保全する方法を確立するとともに、エコツーリズムなどを通じた地域社会経済の持続的発展を図る。
	ペルー	森林保全及びREDD+メカニズム能力強化プロジェクト 2016年3月～2021年2月	森林保全、REDD+の推進のための国家森林モニタリングシステムの強化など中央政府の能力強化を実施するとともに、パイロットサイトにおけるコミュニティの持続的生産活動の支援を実施する。
	ホンジュラス	ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト 2016年1月～2021年1月	ラ・ウニオン生物回廊の管理計画を策定し、計画に基づいた持続的利用・保全計画がパイロットコミュニティにおいて計画実施される。それにより生物回廊管理モデルが確立される。
	パラグアイ	イグアス湖流域総合管理体制強化プロジェクト 2013年8月～2017年7月	植林や環境配慮型農業技術等の普及を通じ周辺の農家や関連機関の協力を得ながら流域を管理。
アフリカ	セネガル	劣化土壌地域における土地劣化抑制・有効利用促進のための能力向上プロジェクト 2011年3月～2017年3月	森林を活用した、酸性化した土壌の劣化抑制及び土地の有効利用に向けた関係者の能力向上。
	エチオピア	オロミア州リフトバレー地域におけるFFSを通じた持続的自然資源管理プロジェクト 2013年6月～2018年3月	FFS(農業学校)を活用した自然資源管理を支援し、これにより、同州半乾燥地域における持続的な自然資源管理のための政策強化を図る。
	エチオピア	REDD+及び付加価値型森林コーヒー生産・販売を通じた持続的な森林管理支援プロジェクト 2014年6月～2020年1月	森林コーヒー認証プログラムとREDD+を通じた参加型森林管理の確立。
	マダガスカル	ムラノクロム総合環境保全・農村開発促進手法開発プロジェクト 2012年2月～2018年3月	森林減少・劣化の結果、植生被覆が乏しい荒廃地の土壌保全の機能回復を図る。
	マラウイ	シレ川中流域における農民による流域保全活動推進プロジェクト 2013年4月～2018年3月	森林資源が減少し、農業生産性が低下した地域において、農民による流域保全活動の制度化を支援。
	マラウイ	ザラニヤ森林保護区の持続的な保全管理プロジェクト 2016年7月～2021年7月	薪炭生産を主な原因として森林減少が加速している、首都リロングエの水源林であるザラニヤ森林保護区での森林保全プロジェクト。
	SADC(南部アフリカ開発共同体)	南部アフリカ地域持続可能な森林資源管理・保全プロジェクト 2015年6月～2020年6月	地域の森林情報管理、森林火災対策及び参加型森林管理の3分野に関し、森林保全と持続的な森林資源管理を推進するための能力向上を図る。
	COMIFAC(中部アフリカ森林協議会)	COMIFAC諸国における生物多様性保全・利用および気候変動対策促進プロジェクト 2015年8月～2020年8月	森林経営・生物多様性保全等における、COMIFACの能力強化。
	ケニア	気候変動への適応のための乾燥地耐性育種プロジェクト 2012年7月～2017年7月	乾燥・半乾燥地において、優良な種苗を用いた郷土樹種の植林を普及。
	ケニア	持続的森林管理のための能力開発プロジェクト 2016年6月～2021年6月	政策支援、カウンティにおけるパイロット事業、REDD+準備支援、林木育種研究、地域協力に係る協力を行うことにより、中央及びカウンティ政府の持続的森林管理のための能力強化を図る。

注1：平成28(2016)年12月末日現在実施中のものである。

注2：(※)は、JICA及びJUST(科学技術振興機構)を通じた地球規模課題に対応する科学技術協力における森林・林業分野のプロジェクトである。

資料：林野庁業務資料

63 JICAを通じた森林・林業分野の開発計画調査型技術協力事例

地域	国名	案件名	協力期間	協力の内容
アフリカ	コンゴ民主共和国	持続可能な森林経営及びREDDプラス促進のための国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト	2012～2017年度	熱帯雨林が広がる北西部において森林資源量を把握する手法を強化
	ガボン	持続的森林経営に資する国家森林資源インベントリースystem強化プロジェクト	2012～2017年度	国家森林資源量を把握する手法を強化
	モザンビーク	REDD+モニタリングのための持続可能な森林資源情報プラットフォーム整備プロジェクト	2012～2017年度	REDD+に必要なとなる森林モニタリングのためのデータベース整備や炭素蓄積量の推定に資する能力強化
	ボツワナ	国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト	2013～2017年度	国家森林モニタリングシステムを活用して定期的に森林モニタリングが実施され、森林の現況が的確に更新される活動を強化。また、このシステムを地方森林局からも利用できるようにするとともに、森林火災対策や参加型森林にも活用する仕組みを支援。

注：平成28(2016)年12月末日現在実施中のものである。

資料：林野庁業務資料

64 森林・林業分野の円借款事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	インド	オリッサ州森林セクター開発計画	2006/3/31	オリッサ州において、森林再生、防災および地域住民の生活水準の向上を図るため、住民およびNGOと対話を行いつつ、住民参加型の植林（海岸防災林を含む）、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を実施するもの。
		スワン川総合流域保全計画	2006/3/31	ヒマチャル・ブラデシュ州ウナ県のスワン川流域において、地方開発の促進、森林の再生および地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林等を通じた森林再生、農地保全等を行う。
		トリプラ州森林環境改善・貧困削減計画	2007/3/30	トリプラ州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行う。
		グジャラート州森林開発計画（フェーズ2）	2007/3/30	グジャラート州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林（海岸防災林を含む）、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。
		ウッタル・ブラデシュ州参加型森林資源管理・貧困削減計画	2008/3/10	インド北部ウッタル・ブラデシュ州において、植林を通じた住民参加型の森林保全管理及び生計改善活動等を行うもの。
		森林管理能力強化・人材育成計画	2008/10/22	インド各州（10州）森林局の森林管理研修内容の改善及び老朽化した施設の改修・建設を通じ、研修体制を改善するもの。
		シッキム州生物多様性保全・森林管理計画	2010/3/29	シッキム州に位置する国立公園及び野生生物保護区の管理能力強化、森林局の活動基盤の強化・整備などを実施するもの。
		タミル・ナド州生物多様性保全・植林計画	2011/2/17	インド南部タミル・ナド州において、繁殖力の強い外来種の除去や在来種の植栽等の生物多様性保全活動、植林活動及び実施機関の組織強化等を行うもの。
		ラジャスタン州植林・生物多様性保全計画（フェーズ2）	2011/6/6	インド北西部ラジャスタン州において、植林活動及び生物多様性保全活動を実施するもの。
		西ベンガル州森林・生物多様性保全計画	2012/3/29	西ベンガル州において 1) 植林、2) 人間と野生動物の接触被害の防止や保護区の生息環境改善、3) 地域開発・生計向上活動及び 4) 実施機関の組織強化等を実施するもの。
	ウッタラカンド州森林資源管理計画	2014/1/27	ウッタラカンド州において、植林活動、地域住民の生計向上活動、防災・災害対策の実施を通じ、植林面積の増大、住民組織の育成、雇用創出を図るもの。	
	中国	貴州省環境社会発展計画	2006/6/23	貴州省東部の貧困地域において、植林等の環境対策、上水道、医療施設の整備等の衛生対策、高等学校施設の整備を行うことにより、劣悪な環境、衛生、教育状況を改善するもの。
		吉林省松花江流域生態環境整備計画	2007/3/30	吉林省松花江流域において、植林を行い、森林率の向上・草原の再生を図ることにより、森林の多面的機能の回復・砂漠化防止に寄与するもの。
		青海省生態環境整備計画	2007/12/1	青海省青海湖周辺において、植林・退化草地の改善及び関連施設（小規模砂防ダム、護岸工事等）の整備を行うことにより、森林・草原の多面的機能の回復、砂漠化の防止を図るもの。
	ベトナム	保全林造林・持続的管理計画	2012/3/30	中部沿岸部の11地方省において、流域保全林の造林、林業インフラの建設及び地方省行政機関と地域住民の森林管理能力強化、住民の生計向上支援等を実施するもの。
トルコ	チョルフ川流域保全計画	2011/6/22	トルコ北東部に位置するチョルフ川流域において、住民参加型手法を取り入れた土壌保全、劣化森林の植生回復及び自然災害防止のための事業を支援することにより、流域住民の生計向上を図るもの。	
フィリピン	森林管理計画	2011/9/27	ルソン島及びパナイ島において、住民参加型の森林管理及び生計改善活動（組織化された住民が、苗木栽培、植林、森林の維持管理、小規模ビジネス（農産物や林産物売買、キノコ栽培、林産物加工）等を行うもの）を実施することにより、森林の再生及び地域住民の生計向上を図るもの。	
北アフリカ	チュニジア	総合植林計画（Ⅱ）	2008/3/28	チュニジアの5県（ベジャ県、ジェンドゥーバ県、ケフ県、シリアナ県、ザグアン県）において、植林、森林火災対策、地域住民の生計支援等の包括的な森林保全活動を行うことにより、森林再生やその持続的管理、同地域における自然環境改善を図るもの。

注：平成28(2016)年12月末までにE/N締結した案件
資料：外務省ホームページ

65 森林・林業分野の無償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	タイ・カンボジア	メコン森林保護地域の越境生物多様性保全計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）	2010/10/28	管理計画の改善、人材育成、地域住民の生活改善などを通じて、両国の国境地域の森林減少や森林の劣化の抑制及び生物多様性の保全等を図る。
	ベトナム	森林保全計画	2010/5/27	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	ラオス	森林資源情報センター整備計画	2010/3/4	森林の減少・劣化の抑制のために必要な森林資源情報センターの建設等を行うもの。
		森林保全計画	2010/3/4	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	東ティモール	森林保全計画	2010/3/15	
	カンボジア	森林保全計画	2010/3/18	
	インドネシア	森林保全計画	2010/3/18	
	パプアニューギニア	森林保全計画	2010/3/19	
	ネパール	森林保全計画	2010/4/28	
	サモア	森林保全計画	2010/6/29	
タイ	森林保全計画	2010/9/30		
	ミャンマー	沿岸部防災機能強化のためのマングローブ植林計画	2012/4/21	洪水やサイクロンによる被害、伐採等で減少したマングローブ林の復旧と、防災機能の向上に貢献。
アフリカ	ケニア	森林保全計画	2010/3/8	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	ガーナ	森林保全計画	2010/3/12	
	カメルーン	森林保全計画	2010/3/17	
	ガボン	森林保全計画	2010/3/18	
	エチオピア	森林保全計画	2010/3/18	
	コートジボアール	森林保全計画	2010/4/19	
	コートジボアール	コミュニティ参加型森林回復計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）	2013/5/14	ITTOと協力して、地域住民の生計向上と住民の苗木生産に関する技術、及び持続可能な森林経営に関する能力強化を支援。
	モザンビーク	森林保全計画	2010/4/28	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	マラウイ	森林保全計画	2010/5/7	
	コンゴ民主共和国	森林保全計画	2010/5/18	
ブルキナファソ	国立水森林学校教育研修能力強化計画	2010/12/2		
カメルーン	コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）	2012/1/25	コンゴ盆地熱帯雨林の持続可能な経営と生物多様性保全のため、訓練プログラムの策定や必要施設・機材を整備。	
中南米	コスタリカ	森林保全計画	2010/3/19	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	パラグアイ	森林保全計画	2010/5/21	
	ボリビア	森林保全計画	2010/7/5	
	ペルー	森林保全計画	2010/9/17	

注：平成28（2016）年12月未までにE/N締結した案件
資料：外務省ホームページ

国有林野事業

66 国有林野事業における主要事業量

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
収穫量 (千㎡)	総数	4,910	5,744	7,763	7,686	7,617	7,962	8,085	8,228
	立木販売	4,212	3,796	4,044	3,260	2,250	2,710	2,627	3,223
	丸太販売	698	1,948	3,720	4,427	5,367	5,252	5,458	5,004
更新面積 (ha)	総数	34,036	11,830	9,984	7,566	8,709	9,406	8,183	8,513
	人工造林	4,592	2,992	5,372	3,940	5,083	5,117	3,665	5,745
	天然更新	29,444	8,838	4,612	3,626	3,626	4,289	4,518	2,768
林道 (km)	新設	99	138	97	320	420	411	293	175
	改良	866	653	958	905	508	1,077	369	354
治山 (百万円)	国有林治山	48,054	20,618	18,470	15,528	15,082	14,529	16,016	17,141
	災害復旧	12,473	24,317	6,858	33,435	4,181	16,065	24,165	18,140

注1：収穫量は、立木材積であり、内部振替並びに分収造林及び分収育林民収分を含む。

2：丸太販売は、丸太を生産した時点で年度区分した。

3：更新面積には、森林災害復旧造林事業費による実行分を含む。

4：人工造林には、新植のほか改植、人工下種を含む。

5：災害復旧は、国有林野内直轄施設災害復旧事業、国有林野内直轄治山災害関連緊急事業及び国有林野内直轄特殊地下壕対策災害関連事業の額である。

6：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料



67 森林生態系保護地域の概要

名称	面積 (千ha)	特徴
日高山脈	144	日高側は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林であり、中腹以上はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
大雪山	80	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
知床	46	冷温帯汎針広混交林、高山植生、海浜断崖植生
狩場山地	3	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
恐山	6	ヒノキアスナロ及びブナ等を中心として土地的・気候的極相を示す冷温帯森林
早池峰山周辺	8	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツの南限
白神山地	17	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林
葛根田川・玉川源流部	9	下部はブナ極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林
くり栗駒山・栃ヶ森山周辺	16	日本海型から太平洋型への移行帯における優れたブナ林、山頂付近はミヤマナラ、ハイマツの低木混交林
朝日山	70	低地のブナ～高地のハイマツまで日本海側多雪山地の植生分布
飯豊山周辺	29	山地帯は広大なブナ林、高山帯には固有種のイデリンドウを始めとする170種に及び多様な高山植物
吾妻山周辺	12	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナ林、シラベの北限
利根川源流部・燧ヶ岳周辺	20	ブナ、オオシラビソ等の天然林、ミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林
奥会津	84	オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林、ブナ、ミズナラ林等の冷温帯落葉広葉樹林、コナラ、アカシデ等の中間温帯林により構成
佐武流山周辺	13	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林
小笠原諸島	6	亜熱帯植生、山地にシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林
南アルプス南部光岳	5	ブナ、ミズナラの落葉広葉樹から、ツガ、シラベ、分布の南限であるハイマツ等の垂直分布
中央アルプス木曾駒ヶ岳	4	日本海型から太平洋型気候の推移帯で、ヒノキ、シラビソ、コメツガ、ハイマツ等の多種多様な植物からなる森林の垂直分布
北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	8	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ、ダケカンバ、高山帯のコケモモ、ハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生
白山	15	ブナ、分布の西限であるハイマツ、オオシラビソ等
大杉谷	1	スギ、タブ、ブナ、トウヒ等の垂直分布
大森山	3	日本海型ブナ林地域、亜高山帯のダイセンキャラボク群落
いしづち山系	4	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布
祖母山・傾山・大崩山周辺	6	アカガシ等の常緑広葉樹からツガ、ブナ、ヒメコマツ等の垂直分布
いなほ尾岳周辺	1	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生
あや綾	1	樹齢300年以上のイチイガシやイスノキを有し、標高ごとに多種多様な樹木が分布
やぶ久島	15	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチシダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生
あま奄美群島	5	主に常緑広葉樹が優占し、まとまった天然林が存在
いり西表島	20	スタジイの優占する常緑広葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ等のマングローブ林
合計	655	

注1：平成27(2015)年4月1日現在の数値。

注2：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

68 平成 27 (2015) 年度に新たに設定した保護林等の概要

	名称 〔所在地〕	面積 (ha)	概要
設定	木曾生物群集保護林 〔長野県木曾郡王滝村、上松町、大桑村、岐阜県中津川市〕	10,392 (10,392)	世界的に希少といわれている、天然のヒノキ、サワラ等を含む温帯性針葉樹林を保護するとともに、人工林から天然林への誘導を通じて復元を図る。
	駒倉ブナ・ミズナラ希少個体群保護林 〔京都府宮津市〕	32 (32)	京都府の日本海側では少ないブナとミズナラを主体とする落葉広葉樹林を保護する。低木層にはチシマザサも多く生育。
	浅谷ブナ・ミズナラ希少個体群保護林 〔京都府宮津市〕	29 (29)	京都府の日本海側では少ないブナとミズナラが主体の落葉広葉樹林を保護する。ハイイヌツゲやヒメアオキなど日本海側多雪地に見られる種も生育。
	入谷ブナ・ツガ・ウラジロモミ希少個体群保護林 〔奈良県吉野郡天川村〕	81 (81)	高齢級のブナ、ツガ及びウラジロモミの大径木を主体とした希少な天然生林を保護する。
変更	旭川アカエゾ・ダケカンバ3林木遺伝資源保存林 〔北海道枝幸郡中頓別町〕	302 (0)	蛇紋岩地帯の針広混交林の天然林で、アカエゾマツ、ダケカンバを保護する。
	松尾観世音郷土の森 〔宮城県柴田郡村田町〕	104 (1)	松尾観世音を中心に、森林を保全しつつ、自然に触れて楽しく学習ができる憩いの場として活用。
	西表森林生態系保護地域 〔沖縄県八重山郡竹富町〕	22,367 (1,895)	スダジイの優占する常緑広葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ等のマングローブ林等、西表島の森林生態系を保護する。
合計		22,774 (1,897)	

注1：()書は、保護林の面積のうち、平成27(2015)年度に変更した面積である。

2：()内の0は、掲載単位に満たないものを示す。

3：計の不一致は四捨五入による。

4：変更欄には、平成27(2015)年度の保護林制度改正に伴う保護林の区分・名称のみの変更以外で区域拡大が行われたものを掲載。

69 レクリエーションの森の整備状況及び利用者数

区分	箇所数	面積 (千ha)	利用者数(百万人)								代表例(所在地)
			H12 年度 (2000)	21 (09)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	
自然休養林	88	103	27	29	29	26	24	18	18	12	高尾山、赤沢、屋久島、剣山
自然観察教育林	159	31	19	14	13	11	9	8	7	7	箱根、軽井沢、上高地
風景林	464	176	48	28	27	49	46	65	64	61	摩周、嵐山、宮島
森林スポーツ林	55	7	2	1	1	1	1	1	1	1	風の松原、筑波山、扇ノ仙
野外スポーツ地域	184	45	40	24	32	29	27	25	26	23	蔵王、玉原、苗場
風致探勝林	105	20	21	14	13	12	9	10	9	6	層雲峡、駒ヶ岳、穂高
合計	1,055	383	157	110	116	127	117	127	124	110	

注1：箇所数及び面積は平成28(2016)年4月1日現在の数値であり、利用者数は各年度の参考値である。

2：計の不一致は四捨五入による。

資料：農林水産省「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

70 遊々の森等の箇所数及び面積

		H20年度 (2008)	21 (09)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)
遊々の森	箇所数	152	162	172	175	173	172	168	165
	面積(ha)	6,361	7,277	7,219	7,382	7,344	7,232	7,073	7,047
ふれあいの森	箇所数	150	132	137	137	140	143	140	137
	面積(ha)	4,843	3,544	4,325	4,152	4,334	4,229	4,257	4,343
木の文化を支える森	箇所数	20	22	22	22	25	23	24	24
	面積(ha)	555	565	565	565	1,617	1,610	1,625	1,625

注：箇所数及び面積は各年度末現在の数値であり、平成20(2008)年度は国が設定した箇所、平成21(2009)年度以降は国と実施主体が協定を締結した箇所の数値である。

資料：林野庁業務資料



その他

71 林業等に対する金融機関別の貸付残高

(単位：十億円、%)

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	対前年 増減率(%)
総計	合計	4,659 (100)	3,132 (100)	3,210 (100)	3,150 (100)	3,083 (100)	3,042 (100)	3,011 (100)	2,975 (100)	▲ 1
	一般金融機関	2,931 (63)	1,849 (59)	2,080 (65)	2,056 (65)	2,015 (65)	2,016 (66)	2,015 (67)	1,997 (67)	▲ 1
	系統金融機関	394 (8)	234 (7)	223 (7)	198 (6)	189 (6)	188 (6)	173 (6)	172 (6)	▲ 1
	政策金融機関	1,334 (29)	1,049 (33)	907 (28)	896 (28)	879 (29)	838 (28)	823 (27)	807 (27)	▲ 2
林業	小計	1,262 (100)	1,036 (100)	1,513 (100)	1,480 (100)	1,466 (100)	1,435 (100)	1,437 (100)	1,450 (100)	1
	一般金融機関	193 (15)	144 (14)	698 (46)	702 (47)	703 (48)	717 (50)	749 (52)	779 (54)	4
	系統金融機関	93 (7)	48 (5)	68 (4)	46 (3)	43 (3)	42 (3)	31 (2)	36 (2)	16
	政策金融機関	976 (77)	844 (81)	747 (49)	732 (49)	720 (49)	676 (47)	657 (46)	636 (44)	▲ 3
木材・木製品製造業	小計	3,396 (100)	2,096 (100)	1,697 (100)	1,670 (100)	1,617 (100)	1,608 (100)	1,575 (100)	1,527 (100)	▲ 3
	一般金融機関	2,738 (81)	1,705 (81)	1,382 (81)	1,354 (81)	1,312 (81)	1,299 (81)	1,266 (80)	1,218 (80)	▲ 4
	系統金融機関	301 (9)	186 (9)	155 (9)	152 (9)	146 (9)	146 (9)	142 (9)	136 (9)	▲ 4
	政策金融機関	357 (11)	205 (10)	160 (9)	164 (10)	159 (10)	163 (10)	167 (11)	173 (11)	4

注1：各年度末現在の数値。

注2：系統金融機関とは、商工組合中央金庫、農林中央金庫である。

注3：政策金融機関とは、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本政策投資銀行である。

注4：()は、合計、小計に対する割合。

注5：平成21(2009)年度以降の一般金融機関及び系統金融機関の林業欄の数字は、農・林業合計の貸付残高である。

注6：平成17(2005)年度以降の政策金融機関には、日本政策投資銀行の貸付残高を含まない。

注7：計の不一致は四捨五入による。

資料：一般金融機関は「日本銀行統計」(日本銀行調査統計局)、商工組合中央金庫、農林中央金庫は各金庫の資料、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫は各公庫の資料、日本政策投資銀行は同銀行の資料による。